

会長講演 (S79)

5月30日(木) 9:00~9:30 第1会場

座長 高橋孝雄 (新百合ヶ丘総合病院発達神経学センター)

PL 天に唾せよ, 若者よ

奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

Invited Lecture (S80)

Invited Lecture 1

5月30日(木) 10:50~11:50 第1会場

Chair Tojo Nakayama (Neurology and Neurological Science, Tokyo Medical and Dental University)

IL1 Progress towards interventional neurogenetics

Timothy W. Yu (Boston Children's Hospital and Harvard Medical School, USA)

Invited Lecture 2

5月30日(木) 16:30~17:30 第1会場

Chair Hiroyuki Kidokoro (Department of Pediatrics, Nagoya University Hospital)

IL2 The role of subplate compartment and its neurons in normal and lesion-altered development of cortical connectivity in the human preterm infants

Ivica Kostovic (Croatian Institute for Brain Research, School of Medicine, University of Zagreb)

Invited Lecture 3

5月31日(金) 9:00~10:00 第1会場

Chair Tatsuya Koeda

(Department of Medical Subspecialties, National Center for Child Health and Development)

IL3 Early detection and intervention in autism : New approaches and looking to the future

Geraldine Dawson (Duke Center for Autism and Brain Development, Duke University School of Medicine)

Invited Lecture 4

5月31日(金) 16:30~17:30 第1会場

Chair Jun-ichi Takanashi

(Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University Yachiyo Medical Center)

IL4 Leukodystrophies, something old and something new

Marjo S. van der Knaap

(Department of Child Neurology, Emma Children's Hospital, Amsterdam University Medical Center, Amsterdam, The Netherlands)

Yukio Fukuyama Memorial Lecture (S84)

5月30日(木) 9:40~10:40 第1会場

Chair Akihisa Okumura (Department of Pediatrics, School of Medicine, Aichi Medical University)

ML The neurodevelopmental disorders and movement disorders in genetic era

Wang-Tso Lee

(National Taiwan University Children's Hospital/National Taiwan University College of Medicine)

特別講演 (S85)

特別講演 1

5月30日(木) 13:30~14:30 第1会場

座長 奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

SL1 「ひきこもり」は病気か?あるいは生き方か? —日本とフランスにおける臨床経験から—

古橋忠晃 (国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学総合保健体育科学センター)

特別講演 2

- 5月31日(金) 13:40~14:40 第1会場
座長 田沼直之(東京都立府中療育センター小児科)
SL2 スモールデータ AI による診断支援システムの開発
鈴木賢治(東京工業大学バイオメディカル AI 研究ユニット)

特別講演 3

- 6月1日(土) 8:30~9:30 第1会場
座長 村松一洋(自治医科大学小児科学)
SL3 幼弱脳と成熟脳における大規模な可塑性の誘導
伊佐 正(京都大学大学院医学研究科, 京都大学ヒト生物学高等研究拠点)

教育講演 (S88)

教育講演 1

- 5月30日(木) 9:40~10:40 第4会場
座長 橋 雅弥(大阪大学大学院連合小児発達学研究科子どものこころの分子統御機構研究センター)
EL1 出生コホート研究から子どもの発達を読み解く
土屋賢治
(浜松医科大学子どものこころの発達研究センター, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科)

教育講演 2

- 5月30日(木) 10:50~11:50 第4会場
座長 高橋 悟(旭川医科大学小児科)
EL2 ゲノム解析時代の小児神経学
齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

教育講演 3

- 5月30日(木) 13:10~14:10 第4会場
座長 是松聖悟(埼玉医科大学総合医療センター小児科)
EL3 小児科医から小児神経病理医になった医師だからこそできること
宮原弘明(愛知医科大学加齢医科学研究所)

教育講演 4

- 5月30日(木) 15:30~16:30 第4会場
座長 佐野史和(山梨大学医学部小児科)
EL4 ミクログリアの生理機能と病態における変化
和氣弘明
(名古屋大学大学院医学系研究科分子細胞学, 自然科学研究機構生理学研究多細胞回路動態研究部門)

教育講演 5

- 5月31日(金) 13:10~14:10 第4会場
座長 中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科, てんかん診療部)
EL5 ILAE によるてんかん症候群の分類と定義 2022 を読み解く
日暮憲道(東京慈恵会医科大学小児科)

教育講演 6

- 5月31日(金) 14:20~15:20 第4会場
座長 福田光成(東京都立神経病院神経小児科)
EL6 ACNS 2021 年版に基づく Critical care EEG の判読法
中本英俊(TMG あさか医療センター脳神経外科)

教育講演 7: 小児領域でも重要な神経疾患 — Prion 病と神経核内封入体病 (NIID) —

- 5月31日(金) 15:30~16:30 第4会場
座長 熊田聡子(東京都立神経病院神経小児科)
曾根 淳(愛知医科大学加齢医科学研究所)
EL7-1 プリオン病の臨床病理学的特徴
岩崎 靖(愛知医科大学加齢医科学研究所神経病理研究部門)

- EL7-2 小児プリオン病症例
 柏井洋文 (東京都立神経病院神経小児科)
- EL7-3 成人で症例数が増加している神経変性疾患：神経核内封入体病 (Neuronal intranuclear inclusion disease：NIID) 総論
 曾根 淳 (愛知医科大学加齢医学研究所)
- EL7-4 皮膚生検および遺伝子解析により診断に至った神経核内封入体病の小児例
 宮本洋輔 (京都府立医科大学小児科)

教育講演 8

- 6月1日(土) 8:30~9:30 第4会場
 座長 藤井克則 (国際医療福祉大学成田病院小児科)
- EL8 医療は新たなステージへ：HLA 適合や免疫抑制剤を必要としないドナー Muse 細胞による点滴治療
 出澤真理 (東北大学大学院医学系研究科)

教育講演 9

- 6月1日(土) 9:40~10:40 第4会場
 座長 加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
- EL9 周産期脳障害のいろは
 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)

教育講演 10

- 6月1日(土) 10:50~11:50 第4会場
 座長 松尾宗明 (佐賀大学小児科)
- EL10 先天性サイトメガロウイルス感染症診療の進歩と課題
 伊藤嘉規 (愛知医科大学医学部小児科)

学会委員会主催教育講演 (S101)

倫理委員会主催教育講演

- 5月30日(木) 14:20~15:20 第4会場
 座長 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)
- CL 生命科学・医学系研究倫理指針 2023 年改正
 丸山英二 (神戸大学)

日本小児神経学会 2024 年度優秀論文賞授賞式・ミニ講演会

- 5月31日(金) 13:10~13:40 第1会場
 座長 西野一三 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所)
- AL-1 Development of a system adapted for the diagnosis and evaluation of peroxisomal disorders by measuring bile acid intermediates.
 川合裕規 (岐阜大学大学院医学系研究科小児科学)

シンポジウム (S102)

シンポジウム 1：胎児期の脳ができる仕組み：サブプレートニューロンの役割

- 5月30日(木) 14:50~16:20 第1会場
 座長 城所博之 (名古屋大学医学部附属病院小児科)
 丸山千秋 (公益財団法人東京都医学総合研究所脳神経回路形成プロジェクト)
- S1-1 ヒト早産児脳波の delta brush とサブプレートニューロン
 白木杏奈 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科, 名古屋記念病院小児科)
- S1-2 サブプレート U 字型発達仮説
 多賀巖太郎 (東京大学大学院教育学研究科)
- S1-3 胎児期からの脳構築過程でのサブプレート層の発達と神経回路形成における役割
 丸山千秋 (公益財団法人東京都医学総合研究所・脳神経回路形成プロジェクト)
- S1-4 生後マウス大脳皮質視覚野サブプレートニューロンの視覚反応特性とその可塑性
 吉村由美子 (自然科学研究機構生理学研究所, 総合研究大学院大学生理学科学コース)

シンポジウム 2：ウイルス感染症と小児神経学

5月30日(木) 9:40~11:10 第2会場

- 座長 吉良龍太郎(福岡市立こども病院小児神経科)
佐久間 啓(東京都医学総合研究所)
- S2-1 SARS-CoV-2 関連小児急性脳症の疫学 —2020年から2022年における全国調査結果—
葛西真梨子(公益財団法人東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野)
- S2-2 ヒトヘルペスウイルスと中枢神経系疾患 —最近のトピックス—
河村吉紀(藤田医科大学岡崎医療センター小児科)
- S2-3 急性弛緩性脊髄炎 —関連ウイルスと最近の発生動向—
吉良龍太郎(福岡市立こども病院小児神経科)
- S2-4 急性脳炎・脳症及び急性弛緩性麻痺～病原体サーベイランスの重要性
多屋馨子(神奈川県衛生研究所)

シンポジウム 3：神経変性・神経代謝疾患の病態に基づいた新しいモダリティによる治療開発

5月30日(木) 13:10~14:40 第2会場

- 座長 村松一洋(自治医科大学小児科学)
中山東城(東京医科歯科大学脳神経病態学分野)
- S3-1 福山型筋ジストロフィーの治療法開発研究
池田真理子(藤田医科大学病院臨床遺伝科)
- S3-2 RNA スプライシング制御によるファブリー病 GLA c.639+919G>A 変異に対する治療開発
栗屋智就
(京都大学大学院医学研究科附属総合解剖センター, 京都大学大学院医学研究科形態形成機構学)
- S3-3 人工 miRNA を搭載した AAV による先天性大脳白質形成不全症に対する遺伝子治療法の開発
井上 健(国立精神・神経医療研究センター神経研究所)
- S3-4 神経疾患に対する AAV ベクターを用いた遺伝子治療開発
月田貴和子(自治医科大学小児科)
- S3-5 新生児低酸素性虚血性脳症, 脳性麻痺に対する幹細胞治療
佐藤義朗(名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター新生児部門)

シンポジウム 4：小児免疫性神経疾患に関するコンセンサスとガイドライン

5月30日(木) 14:50~16:20 第2会場

- 座長 酒井康成(九州大学小児科)
佐久間 啓(東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野)
- S4-1 自己免疫性脳炎の診療に関するコンセンサス
佐久間 啓(東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野)
- S4-2 重症筋無力症と CIDP の最近の診療ガイドラインから
稲葉雄二(長野県立こども病院神経小児科)
- S4-3 MOG 抗体関連疾患 (MOGAD) の診療指針
福與なおみ(東北医科薬科大学医学部小児科)
- S4-4 多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害診療ガイドライン 2023
酒井康成(九州大学小児科)

シンポジウム 5：グリア細胞：多様な生理機能と神経疾患の病態生理

5月30日(木) 9:40~11:10 第3会場

- 座長 大守伊織(岡山大学学術研究院教育学域)
佐野史和(山梨大学医学部小児科, 山梨大学医学部薬理学, 山梨大学 GLIA センター)
- S5-1 睡眠時グリア細胞機能と脳病態における機能変容
松井 広(東北大学大学院生命科学研究所超回路脳機能分野)
- S5-2 てんかん原性型アストロサイトと発作原性・てんかん原性
佐野史和(山梨大学医学部小児科, 山梨大学医学部薬理学, 山梨大学 GLIA センター)
- S5-3 一次性アストロサイト病アレキサンダー病におけるミクログリアの関連性機序
齋藤光象(山梨大学医学部大学院総合研究部基礎医学系薬理学講座, 山梨 GLIA センター)
- S5-4 酸化ストレス障害による神経変性と修復過程におけるグリア細胞の役割
大守伊織(岡山大学学術研究院教育学域)

シンポジウム 6：脳保護のための小児神経集中治療

5月30日(木) 13:10~14:40 第3会場

- 座長 永瀬裕朗(神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野)
青木一憲(兵庫県立こども病院小児集中治療科)
- S6-1 脳保護を指向した小児神経集中治療
永瀬裕朗(神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野)

- S6-2 脳傷害はこうやって管理する！ 一小児集中治療科の頭の中—
青木一憲（兵庫県立こども病院小児集中治療科）
- S6-3 脳傷害はこうやって科学する！ 一小児神経科の頭の中—
西山将広（兵庫県立こども病院神経内科）
- S6-4 地域・院内連携で成り立つ脳保護療法 一小児集中治療科の立場から—
野田俊輔（長野県立こども病院小児集中治療科）
- S6-5 地域・院内連携で成り立つ脳保護療法 一小児神経科の立場から—
本林光雄（長野県立こども病院，信州大学医学部小児科）

シンポジウム 7：神経生理から読み解く小児神経疾患

- 5月30日（木）14:50～16:20 第3会場
座長 石山昭彦（東京都立神経病院神経小児科）
福村 忍（札幌医科大学小児科）
- S7-1 中枢神経疾患・遺伝性疾患に伴う神経生理学
福村 忍（札幌医科大学小児科）
- S7-2 不随意運動症の神経生理学
柏井洋文（東京都立神経病院神経小児科）
- S7-3 神経発達症群における神経生理学
軍司敦子（横浜国立大学教育学部，国立精神・神経医療研究センター）
- S7-4 末梢神経疾患・筋疾患の神経生理学
石山昭彦（東京都立神経病院神経小児科）

シンポジウム 8：小児疾患における創薬・新技術の開発

- 5月30日（木）9:40～11:10 第5会場
座長 加藤光広（昭和大学医学部，昭和大学病院小児科学講座，てんかん診療センター）
白石秀明（獨協医科大学医学部小児科）
- S8-1 難治てんかんに対する新規薬剤開発：mTOR 阻害剤シロリムスによる限局性皮質異形成 II 型の発作予防
加藤光広（昭和大学医学部小児科，昭和大学病院てんかん診療センター）
- S8-2 てんかん症例に対する経皮的耳介迷走神経刺激療法の開発
白石秀明（獨協医科大学医学部小児科）
- S8-3 神経疾患代謝疾患での遺伝子治療開発の課題
村松一洋（自治医科大学小児科）

シンポジウム 9：超早産児における限局性学習症について考える

- 5月30日（木）9:40～11:10 第6会場
座長 竹内章人（国立病院機構岡山医療センター小児神経内科）
福井美保（大阪医科薬科大学小児科，大阪大谷大学教育学部）
- S9-1 早産児のフォローアップにおける読み能力の評価
杉野典子（国立病院機構三重中央医療センター）
- S9-2 早産児の限局性学習症
福井美保（大阪医科薬科大学小児科，大阪大谷大学教育学部）
- S9-3 早産児の限局性学習症と脳画像研究
内山仁志（鳥根県立大学人間文化学部保育教育学科）
- S9-4 新生児科フォローアップにおける就学後支援外来の試み
山口直人（神奈川県立こども医療センター新生児科，川崎市北部地域療育センター）

シンポジウム 10：iPS 細胞を用いた神経疾患の病態解析と創薬

- 5月30日（木）13:10～14:40 第6会場
座長 日暮憲道（東京慈恵会医科大学小児科）
松尾宗明（佐賀大学小児科）
- S10-1 難治性てんかんの病態解析と創薬
田中泰圭（福岡大学薬学部応用薬剤学）
- S10-2 先天代謝異常症の神経障害における異常表現型の解析と薬剤開発
江良沢実（熊本大学発生医学研究所幹細胞誘導分野）
- S10-3 ALS の病態解析と創薬
岡野栄之（慶應義塾大学）
- S10-4 疾患特異的 iPS 細胞を用いたもやもや病の病態解析
松尾宗明（佐賀大学医学部小児科）

シンポジウム 11：ADHD の行動療法：異文化間ペアレンティングプログラムの実践とその課題

5月31日(金) 10:10~11:40 第1会場

座長 山下裕史朗(久留米大学医学部高次脳疾患研究所/柳川療育センター)

小枝達也(国立成育医療研究センター小児内科系専門診療部)

S11-1 Well Parent Japan：ADHD のニーズに応えるペアレント・トレーニング多施設無作為比較試験(RCT)

鳥袋静香(沖縄科学技術大学院大学)

S11-2 ブラジルにおけるモバイル型ペアレンティングプログラムの開発

古川絵美(沖縄科学技術大学院大学)

S11-3 コミュニティ参加型ペアレンティングプログラムの開発

笠井 綾(宮崎国際大学)

S11-4 くるめスマートリートメントプログラム実践の課題

山下裕史朗(久留米大学医学部高次脳疾患研究所/柳川療育センター)

シンポジウム 12：拡がる白質ジストロフィーの最前線

5月31日(金) 14:50~16:20 第1会場

座長 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

小坂 仁(自治医科大学小児科学)

S12-1 わが国の白質ジストロフィー診療の歩み

小坂 仁(自治医科大学小児科学)

S12-2 MR spectroscopy で診る白質ジストロフィー

高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

S12-3 白質ジストロフィーの遺伝子解析

才津浩智(浜松医科大学医化学講座)

S12-4 先天性大脳白質形成不全症の病態解明と治療法開発の最前線

井上 健(国立精神・神経医療研究センター神経研究所)

シンポジウム 13：術式・切除範囲の決定は神経科医か外科医か

5月31日(金) 10:10~11:40 第2会場

座長 藤本礼尚(聖隷浜松病院てんかんセンターてんかん科)

本田涼子(国立病院機構長崎医療センター小児科)

S13-1 小児専門病院におけるてんかん外科診療の実際 —手術に至るまでのプロセスについて—

宇佐美憲一(国立成育医療研究センター脳神経外科)

S13-2 小児神経科医は小児てんかんの総合診療医

石原尚子(藤田医科大学医学部小児科)

S13-3 てんかん外科における術式・切除範囲の決定に向けた神経科医と脳神経外科医の役割

鈴木皓晴(順天堂大学脳神経外科)

S13-4 小児神経科医が手術内容を決定する：聖隷浜松病院での経験より

岡西 徹(鳥取大学医学部脳神経小児科, 聖隷浜松病院小児神経科)

シンポジウム 14：ミトコンドリア病の診断と治療 up-to-date

5月31日(金) 13:10~14:40 第3会場

座長 小坂 仁(自治医科大学小児科学)

三牧正和(帝京大学医学部小児科)

S14-1 本邦におけるミトコンドリア病の診療基盤構築

村山 圭(順天堂大学難治性疾患診断・治療学)

S14-2 Leigh 脳症の診断と治療

小川えりか(東京都立広尾病院小児科, 日本大学医学部小児科)

S14-3 MELAS の診断と治療

八ッ賀秀一(福岡大学小児科)

S14-4 ミトコンドリア病の成人期・移行期医療の現状と展望

井川正道

(福井大学医学部地域健康学講座, 福井大学医学部附属病院遺伝診療部, 福井大学医学部附属病院脳神経内科)

シンポジウム 15：小児チック症に対する包括的治療戦略

5月31日(金) 14:50~16:20 第3会場

座長 永光信一郎(福岡大学小児科)

山下裕史朗(久留米大学医学部高次脳疾患研究所/柳川療育センター)

S15-1 小児チック診療ガイドライン策定までの道のり

石井隆大(久留米大学医学部小児科学講座)

- S15-2 リモートおよびグループで実施するチックのための包括的行動的介入 (CBIT) —ランダム化比較試験—
井上 建 (獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)
- S15-3 トレット症に併存する精神症状に対する治療
岡田 俊 (奈良県立医科大学精神医学講座)
- S15-4 年齢により変化するチックや併存症に対する多軸的な治療
星野恭子 (昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)

シンポジウム 16：片頭痛の進歩 —基礎から臨床まで—

- 5月31日 (金) 10:10~11:40 第5会場
座長 榎 日出夫 (川崎医科大学小児科)
山中 岳 (東京医科大学小児科・思春期科学分野)
- S16-1 小児期片頭痛診療と共存症の考え方
下村英毅 (兵庫医科大学医学部小児科学)
- S16-2 カルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) をターゲットとした新たな片頭痛治療
松森保彦 (仙台頭痛脳神経クリニック)
- S16-3 頭痛と痛覚変調性疼痛
住谷昌彦 (東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部)
- S16-4 モデル動物を用いた片頭痛の臨床前研究
相澤秀紀 (広島大学医系科学研究科神経生物学)

シンポジウム 17：理解して使いこなそう！神経筋疾患ガイドラインのピットフォール

- 5月31日 (金) 14:50~16:20 第5会場
座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター脳神経小児科診療部)
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
- S17-1 小児期発症重症筋無力症ガイドライン使用時の注意点
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
- S17-2 Duchenne 型筋ジストロフィーガイドラインのポイント
本橋裕子 (国立精神・神経医療研究センター脳神経小児科)
- S17-3 Pompe 病診療ガイドライン 2018 とその先へ
成田 綾 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)
- S17-4 若年性皮膚筋炎診療にガイドラインを使用する際の注意点
岸 崇之 (東京女子医科大学小児科)

シンポジウム 18：重症心身障害児の ACP と意思決定支援について

- 5月31日 (金) 13:10~14:40 第6会場
座長 佐々木征行 (東京小児療育病院小児科)
根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南神経小児科)
- S18-1 呼吸・栄養管理の治療方針における話し合い
余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
- S18-2 重症心身障害児の慢性呼吸不全における ACP
石川悠加 (国立病院機構北海道医療センター小児神経内科)
- S18-3 重症痙縮と骨格変形の ACP
根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南)
- S18-4 重症心身障害児者の ACP と意思決定支援の実際
船戸正久 (大阪発達総合療育センター)

シンポジウム 19：てんかん診療の転換点：未来の診療に役立つ知識

- 5月31日 (金) 14:50~16:20 第6会場
座長 岡西 徹 (鳥取大学医学部脳神経小児科)
白石秀明 (獨協医科大学医学部小児科学)
- S19-1 特殊脳波解析を用いた次世代てんかん診療
佐藤洋輔 (昭和大学脳機能解析デジタル医学研究所)
- S19-2 神経炎症という観点から追るてんかんへの治療戦略
山中 岳 (東京医科大学小児科・思春期科学分野)
- S19-3 てんかん診療と遺伝学的解析
齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
- S19-4 脳波からの小児急性脳症の判別における機械学習の活用
西山正志 (鳥取大学工学部電気情報系学科)

シンポジウム 20：腸内細菌叢研究最前線

6月1日(土) 8:30~10:00 第5会場

座長 佐久間 啓 (東京都医学総合研究所)
田沼直之 (東京都立府中療育センター小児科)

- S20-1 神経疾患における腸内細菌叢解析の現状と将来の展望
山村 隆 (国立精神・神経医療研究センター)
- S20-2 自閉スペクトラム症と腸内細菌叢
住友典子 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)
- S20-3 認知症と腸内細菌叢：腸脳相関から展望する新しい疾患リスク
佐治直樹 (国立長寿医療研究センターもの忘れセンター)

シンポジウム 21：デジタル社会における乳幼児の発達支援

6月1日(土) 10:10~11:40 第5会場

座長 高橋孝雄 (新百合ヶ丘総合病院発達神経学センター)
秋山千枝子 (あきやま子どもクリニック)

- S21-1 乳幼児期のメディア視聴の実態と「遊び」の重要性
秋山千枝子 (あきやま子どもクリニック)
- S21-2 デジタルゲームへの嗜癖に備える
吉川 徹 (愛知県医療療育総合センター中央病院子どものこころ科)
- S21-3 教育 DX と子どもの発達
成田奈緒子 (文教大学教育学部特別支援教育専修)
- S21-4 絵本で育む愛着形成 —Polyvagal theory の視点から—
安元佐和 (福岡大学医学部総合医学研究センター)
- S21-5 デジタル社会の育児と教育
高橋孝雄 (新百合ヶ丘総合病院発達神経学センター)

シンポジウム 22：小児神経科医ができる「こどもアドボカシー」を考える

6月1日(土) 8:30~10:00 第6会場

座長 余谷暢之
(国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科, 国立成育医療研究センター成育こどもシンクタンク戦略支援室)

- S22-1 誰もが「こどものこえを聴く」社会へ —こどものこえを政策につなげるために、私たちができること—
小倉加恵子 (国立成育医療研究センター/鳥取県子ども家庭部/鳥取県倉吉保健所)
- S22-2 障害のあるこどものこえを聴く —療育現場から—
須貝京子 (大阪発達総合療育センター)
- S22-3 「病気のこどものこえを聴く —病児支援の現場から—」
坂上和子 (特定非営利活動法人病気の子ども支援ネット遊びのボランティア)
- S22-4 どう作る？医療者と親子の『共通言語』—教えて！ドクターとアドボカシー—
坂本昌彦 (厚生連佐久総合病院佐久医療センター小児科)
- S22-5 こどものこえを社会に届ける小児科医の役割 —小児神経科医がアドボカシーを実践するために—
余谷暢之
(国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科, 国立成育医療研究センター成育こどもシンクタンク戦略支援室)

共催シンポジウム (S146)

日本遺伝子細胞治療学会共催シンポジウム：小児神経疾患への遺伝子治療の臨床応用と治療体制整備に向けて

5月30日(木) 14:50~16:20 第6会場

座長 小林博司 (東京慈恵会医科大学遺伝子治療研究部)
村松一洋 (自治医科大学小児科学)

- JS1-1 遺伝子治療の基礎知識
小野寺雅史 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター遺伝子細胞治療推進センター)
- JS1-2 AAV ベクターによる遺伝子治療：有効性と安全性
村松慎一 (自治医科大学)
- JS1-3 神経筋疾患の遺伝子治療導入に向けた体制整備
小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
- JS1-4 目の前の患者さんに遺伝子治療を届ける
小坂 仁 (自治医科大学小児科)

- JS1-5 日本遺伝子細胞治療学会の支援と認定医制度創設
久米晃啓（自治医科大学附属病院臨床研究センター）

JSCN-ISS Joint Symposium : Overview of the latest development in developmental and epileptic encephalopathy (DEE)

6月1日(土) 10:10~11:40 第1会場

- 座長 Raman Sankar (University of California, Los Angeles)
山内秀雄 (埼玉医科大学病院小児科)
- JS2-1 **Genetics of febrile seizures and related disorders, including Dravet syndrome**
Ingrid E Scheffer (University of Melbourne, Austin and Royal Children's Hospital, Florey Institute and Murdoch Children's Research Institute, Melbourne, Australia)
- JS2-2 **Developmental and epileptic encephalopathy from the viewpoint of neuroimaging**
伊藤祐史 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科)
- JS2-3 **Anti-seizure medications for DEE**
Wang-Tso Lee (National Taiwan University Children's Hospital/National Taiwan University College of Medicine)
- JS2-4 発達性てんかん性脳症に対して外科治療は有効か？
本田涼子 (NHO 長崎医療センター小児科)

学会委員会主催セミナー (S150)

共同研究推進委員会主催セミナー：患者レジストリ（疾患登録システム）の臨床開発への応用

5月30日(木) 13:10~14:40 第5会場

- 座長 遠山 潤
(国立病院機構西新潟中央病院神経小児科, 新潟大学医歯学総合病院ゲノム医療部遺伝医療センター)
竹下絵里 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)
- CS1-1 小児神経学会希少疾患登録システムと共同研究支援
遠山 潤
(国立病院機構西新潟中央病院神経小児科, 新潟大学医歯学総合病院ゲノム医療部遺伝医療センター)
- CS1-2 神経筋疾患患者登録 (Remudy) と筋ジストロフィー臨床試験ネットワーク (MDCTN)
小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
- CS1-3 筋ジストロフィー臨床試験ネットワーク (MDCTN) 多施設共同研究 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの自然歴研究
竹下絵里 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)
- CS1-4 福山型筋ジストロフィー患者レジストリと臨床開発
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
- CS1-5 患者の研究参画を考える：患者サイド・研究者サイドからみた患者情報プラットフォームの利活用について
西村由希子¹, 織田友理子² (特定非営利活動法人 ASrid¹, 特定非営利活動法人 PADM²)

小慢・指定難病に関する委員会主催セミナー：小児慢性特定疾病、指定難病についてもっと知ろう！

5月31日(金) 13:10~14:40 第2会場

- 座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部高次脳疾患研究所/柳川療育センター)
井上貴仁 (福岡大学筑紫病院小児科)
- CS2-1 神経・筋疾患と小児慢性特定疾病
盛一享徳 (国立成育医療研究センター研究所小児慢性特定疾病情報室)
- CS2-2 慢性疾患のあるこどもの自立支援
小倉加恵子 (国立成育医療研究センター/鳥取県子ども家庭部/鳥取県倉吉保健所)
- CS2-3 小児慢性特定疾病、指定難病について、患者家族の立場から
原田久生 (一般社団法人全国ファミリー病患者と家族の会)
- CS2-4 難病・小児慢性特定疾病に対する対策について
中村梨絵子 (厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課)

小児痙縮ジストニア診療ガイドライン策定 WG 主催セミナー：小児痙縮ジストニア診療ガイドライン 2023 に基づく治療アルゴリズム

5月31日(金) 14:50~16:20 第2会場

- 座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南神経小児科)
北井征宏 (ボバース記念病院小児神経科)

- CS3-1 ボツリヌス治療
根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南神経小児科)
- CS3-2 小児痙縮に対する選択的脊髄後根切断術
井原 哲 (東京都立小児総合医療センター脳神経外科)
- CS3-3 新ガイドラインからみた小児痙縮治療戦略における ITB 療法の位置付け —小児痙縮ジストニア診療ガイドライン 2023—
金城 健 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児整形外科)
- CS3-4 小児ジストニアの治療アルゴリズム
宮田世羽 (杏林大学医学部小児科, 東京都立神経病院神経小児科)

社会保険・薬事委員会薬事小委員会主催セミナー：継続可能なケトンフォーミュラの使用方法について考える

5月31日(金) 10:10~11:40 第3会場

- 座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
- CS4-1 ケトン食療法とケトンフォーミュラの現状と課題について
青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター)
- CS4-2 ケトンフォーミュラ「817-B」の栄養学的な特徴と生産の現状について
菅野貴浩 (株式会社明治研究本部研究戦略統括部)
- CS4-3 ケトン食療法におけるケトンフォーミュラの活用法について
長井直子 (大阪大学医学部附属病院栄養マネジメント部)
- CS4-4 管理栄養士の視点で考えたケトンフォーミュラ (KF) 適正使用のための代替案
鈴木里佳 (社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院聖隷浜松病院栄養課)
- CS4-5 Glut1 欠損症に与えるケトンフォーミュラ
森山佐代子 (glut1 異常症患者会)
- CS4-6 発作抑制だけではなくケトンフォーミュラ活用による治療効果
黒岩ルビー (ドラベ症候群患者家族会)

国際化推進委員会主催セミナー：若手小児神経科医による国際交流プロジェクト

5月31日(金) 9:40~11:40 第4会場

- 座長 本橋裕子 (国立精神・神経医療研究センター脳神経小児科)
持田ガネシュワラン仁司 (Boston Children's Hospital, Harvard Medical School)
- CS5-1 Strengths and Opportunities for Neurological Care in Thailand
Titaporn Thamcharoenvipas
(Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Prince of Songkla University, Thailand)
- CS5-2 Pediatric Neurology in Taiwan: An Overview of Clinical Practice, Education, and Research
Lee Chin Wong
(Division of Pediatric Neurology, Department of Pediatrics, National Taiwan University Children Hospital, Taiwan)
- CS5-3 What it means to be a pediatric neurologist in South Korea
Woojoong Kim
(Department of Pediatrics, Division of Pediatric Neurology, Seoul National University Children's Hospital)
- CS5-4 Pediatric Neurology in Singapore
Adeline Ngoh Seow Fen (KK Women's and Children's Hospital, SingHealth, Singapore)
- CS5-5 Comprehensive Patient Care through Collaborative Medical Networks: A Multidisciplinary Approach
小笠原真志 (公立昭和病院小児科)
- CS5-6 Adventures in pediatric neurology: Clinical and research training in Japan
澤田大輔 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

災害対策委員会主催セミナー：障がいがある子ども達の災害時の避難所を考えよう

5月31日(金) 13:10~14:40 第5会場

- 座長 木村重美 (熊本託麻台小児リハビリテーション・発達医療センター神経小児科)
遠藤雄策 (浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科)
- CS6-1 特別支援学校での子どものための福祉避難所開設に関するアンケート調査
野村恵子 (熊本県こども総合療育センター)
- CS6-2 平成 28 年熊本地震における学校の対応
五瀬 浩 (社会福祉法人恩賜財団済生会熊本福祉センター済生会なでしこ園)
- CS6-3 重度障害と災害 —当事者の立場から—
高橋桃子 (社会福祉法人つどいの家アプリ, 仙台リハビリテーション専門学校)
- CS6-4 災害時の避難意識をどう高めるか
鈴木あゆみ (岩手県立大学社会福祉学部)

- CS6-5 医療的ケアのあるお子さんの避難への取り組み
森田浩之（福島県総合療育センター）

社会活動委員会主催セミナー：子どもの育ちから考える子ども虐待／障害者虐待

6月1日（土）8:30～10:00 第2会場

座長 御牧信義（倉敷成人病センター小児科）
小橋孝介（鴨川市立国保病院）

- CS7-1 こどもまんなかに 一すべてのこどもが大切にされるために—
北川聡子（社会福祉法人麦の子会）
- CS7-2 子どもの健康と育ちに影響を与える子ども期の逆境体験（ACEs）と保護的要因としての肯定的体験（PCEs）について
山岡祐衣（東京医科歯科大学国際健康推進医学分野）
- CS7-3 逆境体験が子どもの成長に及ぼす影響とトラウマインフォームドケア
野坂祐子（大阪大学大学院人間科学研究科臨床教育学講座）

教育委員会主催セミナー：あなたも書ける・書こう症例報告

6月1日（土）10:10～11:40 第2会場

座長 村松一洋（自治医科大学小児科学）
城所博之（名古屋大学医学部小児科）

- CS8-1 症例報告が教えてくれたこと
竹内博一（埼玉県立小児医療センター神経科，東京慈恵会医科大学小児科学講座）
- CS8-2 初めての症例報告執筆の経験
川口将宏（あいち小児保健医療総合センター神経内科）
- CS8-3 症例報告の効果的な書き方
平賀陽之（千葉労災病院脳神経内科）

医療安全委員会主催セミナー：小児の事故，溺水，頭部外傷と予防

6月1日（土）8:30～10:00 第3会場

座長 是松聖悟（埼玉医科大学総合医療センター小児科）
宮田理英（東京北医療センター小児科）

- CS9-1 こどもの神経外傷を減らすには
山中龍宏（緑園こどもクリニック）
- CS9-2 てんかん児の事故，溺水の予防と生活指導箋
伊藤進（東京女子医科大学小児科）
- CS9-3 小児頭部外傷の予防
植松悟子（国立成育医療研究センター救急診療部）
- CS9-4 小児頭部外傷に対する CT 検査の実施理由から検討する被ばく低減
下川尚子
（日本小児神経学会医療安全委員会頭部外傷における CT 撮像基準の提言の作成ワーキンググループ，久留米大学医学部脳神経外科）

脳と発達編集委員会，B&D 編集委員会主催セミナー：学術活動への貢献によるキャリア開発の一環としての論文執筆と査読プロセス

6月1日（土）10:10～11:40 第3会場

座長 森本昌史（京都府立医科大学医学部・看護学科医学講座小児科学）
山本俊至

（東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医学系遺伝子医学分野，東京女子医科大学ゲノム診療科）

- CS10-1 キャリア形成としての論文投稿
福與なおみ（東北医科薬科大学医学部小児科）
- CS10-2 論文の基本的な作成方法
高橋 悟（旭川医科大学医学部小児科）
- CS10-3 神経発達症の論文投稿を増やすためには
加賀佳美（山梨大学医学部小児科）
- CS10-4 編集者から見た理想的な論文投稿
佐久間 啓（東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野）
- CS10-5 Brain and Development Case Reports 創刊：症例報告は世界との架け橋
齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）

CS10-6 論文査読トレーニング

山本俊至

(東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系遺伝子医学分野, 東京女子医科大学ゲノム診療科)

災害対策委員会・社会活動委員会主催 特別企画：能登半島地震から学べー現地の小児神経科医からの報告ー

5月31日(金) 10:10~11:10 第6会場

座長 木村重美(熊本託麻台小児リハビリテーション・発達医療センター小児神経科)

宮本雄策(聖マリアンナ医科大学小児科学)

CSS-1 能登半島地震における石川県災害時小児呼吸器地域ネットワークの活動と今後の課題について

佐藤仁志(金沢医科大学医学部小児科)

CSS-2 被災した子ども達への中長期的支援について

黒田文人(金沢大学附属病院小児科)

CSS-3 能登半島地震におけるいしかわ医療的ケア児支援センターこのこの支援活動について

丸箸圭子(国立病院機構医王病院小児科/いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの)

若手研究推進ワークショップ (S175)

若手研究推進ワークショップ：未来への挑戦：若手医師のためのリサーチ・ナビゲーション

6月1日(土) 13:30~15:30 第5会場

企画 村松一洋(自治医科大学)

粟屋智就(京都大学)

後援 共同研究推進委員会

第66回日本小児神経学会学術集会

市民公開講座 (S176)

基調講演：医療的ケア児の現在と未来

6月1日(土) 13:30~15:30 第1会場

座長 水野美穂子(社会福祉法人大同宏緑会重心施設にじいろのいえ小児科)

CO1-1 地域で医療的ケア児と家族を支える

三浦清邦(愛知県医療療育総合センター中央病院)

シンポジウム：医療的ケア児の現在と未来

6月1日(土) 13:30~15:30 第1会場

座長 久保田哲夫(安城更生病院小児科)

山田桂太郎(愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科)

CO2-1 医療的ケア児ってどんな子ども？

恒川敦子(愛知県医療的ケアライン)

CO2-2 訪問看護ステーションとして地域で医療的ケア児と家族を支える

澤野由佳(7riser株式会社しずく訪問看護ステーション)

CO2-3 医療的ケア児の学びのために 一過去, 現在, そして未来に期待することー

島谷麻未(愛知県立小牧特別支援学校)

CO2-4 障害児通所支援事業所における医療的ケア児の支援について

上田一稔(特定非営利活動法人幸せつむぎ)

実践教育セミナー (S179)

実践教育セミナー1：小児科医のための神経放射線 2024

5月29日(水) 14:00~18:00 第4会場

座長 大場 洋(帝京大学医学部放射線科)

高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

PS1-1 小児の頭部 CT revisit

神田知紀(神戸大学放射線科)

PS1-2 基礎編：T1, T2, FLAIR, T2 star, SWI revisit

森 壘(自治医科大学医学部放射線医学講座)

PS1-3 DWI, DTI revisit

榎園美香子(東京都立小児総合医療センター放射線科)

- PS1-4 基礎編：MRA, ASL revisit
上谷浩之（熊本大学大学院生命科学研究部画像動態応用医学共同研究講座）
- PS1-5 疾患で見える！脳幹解剖
中井雄大（東京大学医学部放射線科）
- PS1-6 みんなで愉しもう！小児神経放射線 teaching files
松木 充（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児画像診断部）

実践教育セミナー 2：新生児脳波判読ハンズオン

5月29日（水）14:00～16:00 第5会場

- 座長 城所博之（名古屋大学医学部附属病院小児科）
山本啓之（名古屋大学医学部附属病院小児科）
- PS2-1 新生児の正常脳波
白木杏奈（名古屋大学大学院医学系研究科小児科，名古屋記念病院小児科）
- PS2-2 新生児の異常脳波
深沢達也（安城更生病院小児科）
- PS2-3 脳波トレンドプログラム amplitude-integrated EEG
杉山裕一朗（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院小児科）

実践教育セミナー 3：小児の頭痛

5月29日（水）14:00～16:00 第6会場

- 講師/モデレーター 西村 陽（京都第一赤十字病院小児科・新生児科）
- PS3-1 小児・思春期の頭痛：ODの角度から行動変容へつなげてみよう！
呉 宗憲（東京医科大学小児科・思春期科学分野）
- PS3-2 典型的ではない前兆を有する「前兆のある片頭痛」
下村英毅（兵庫医科大学医学部小児科学）
- PS3-3 睡眠と思春期青年期の頭痛
石原靖紀（福井愛育病院）
- PS3-4 小児の片頭痛の診断と治療の実際
小俣優子（誠馨会千葉メディカルセンター小児科）
- PS3-5 不登校を伴う慢性連日性頭痛をいかにして診療するか～その初期の説明，対応の重要性に関して
永井 章（国立成育医療研究センター総合診療科）
- PS3-6 小児の二次性頭痛
西村 陽（京都第一赤十字病院小児科・新生児科）

実践教育セミナー 4：第 11 回遺伝学実践教育セミナー：遺伝学的検査の結果を解釈する

5月29日（水）14:00～16:30 第7会場

- PS4 講師 岡崎哲也（岡山大学臨床遺伝子医療学）
吉田健司（京都大学大学院医学研究科発達小児科学）
- チューター 齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）
白井宏直（北里大学医学部小児科）
酒井康成（九州大学小児科）
村松一洋（自治医科大学小児科学）
和田敬仁（京都大学大学院医学研究科ゲノム医療学講座）
高野亨子（信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター）
チョンビンフィー（九州大学病院小児科）
松本 歩（自治医科大学人類遺伝学研究部/小児科）
東 慶輝（愛知医科大学小児科）
藤本真徳（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）

共催セミナー

ランチョンセミナー 1（共催：アキュリスファーマ株式会社）

5月30日（木）12:00～13:00 第2会場

- 医療機関外におけるてんかん発作への対応—現状の課題と今後の展望—
座長 加藤光広（昭和大学医学部小児科学講座/昭和大学病院てんかん診療センター）
- LS1-1 救急搬送の問題から考える医療機関外でのてんかん発作に対する治療の重要性
藤本礼尚（聖隷浜松病院てんかん・機能神経センター）

- LS1-2 医療機関外でのてんかん発作に対する早期治療介入の重要性 —全国のてんかん患者の介護者を対象としたアンケート調査の結果から—

岡崎 伸

(大阪市立総合医療センター小児脳神経内科/小児言語科/小児青年てんかん診療センター)

ランチョンセミナー 2 (共催：エーザイ株式会社)

5月30日(木) 12:00~13:00 第3会場

座長 白石秀明 (獨協医科大学医学部小児科学)

- LS2 てんかん研究 ~脳神経外科の立場から~

佐藤洋輔 (昭和大学脳機能解析・デジタル医学研究所/昭和大学医学部脳神経外科学講座)

ランチョンセミナー 3 (共催：中外製薬株式会社)

5月30日(木) 12:00~13:00 第4会場

座長 齋藤加代子 (東京女子医科大学ゲノム診療科)

- LS3-1 日本における脊髄性筋萎縮症新生児スクリーニングの全国的な開始に向けて

齋藤加代子 (東京女子医科大学ゲノム診療科)

- LS3-2 Spinal Muscular Atrophy Treatment in Patients Identified by Newborn Screening : A Five-Year Experience Perspective from a Taiwan Neonatal Screening Center

Yuh-Jyh Jong

(Departments of Pediatrics and Laboratory Medicine, and Translational Research Center of Neuromuscular Diseases, Kaohsiung Medical University Hospital, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan)

ランチョンセミナー 4 (共催：武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス)

5月30日(木) 12:00~13:00 第5会場

小児神経疾患患者のQOL向上を目指して

座長 濱崎考史 (大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学)

- LS4-1 ゴーシェ病におけるPROの開発とその利用

成田 綾 (医誠会国際総合病院小児科)

- LS4-2 QOL向上をめざす小児てんかん診療

加賀佳美 (山梨大学医学部小児科・てんかんセンター)

ランチョンセミナー 5 (共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス)

5月30日(木) 12:00~13:00 第6会場

小児神経科医が知っておきたい栄養と睡眠の話題

座長 横山浩之 (福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター小児科学講座)

- LS5-1 小児における亜鉛の役割と欠乏症について

近藤宏樹 (近畿大学奈良病院小児科)

- LS5-2 子どもの発達と睡眠への早期介入

橋 雅弥 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

ランチョンセミナー 6 (共催：PTCセラピューティクス株式会社)

5月30日(木) 12:00~13:00 第7会場

座長 山形崇倫 (栃木県立リハビリテーションセンター)

- LS6 治療可能な小児神経伝達物質病 —AADC欠損症を中心に—

小坂 仁 (自治医科大学小児科学)

ランチョンセミナー 7 (共催：ヤンセンファーマ株式会社)

5月30日(木) 12:00~13:00 第8会場

座長 米山 明 (社会福祉法人全国心身障害児福祉財団全国療育相談センター)

- LS7 家族支援 —発達障がい・マルトリートメントの神経生物学的観点から—

友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

ランチョンセミナー 8 (共催：JCRファーマ株式会社/住友ファーマ株式会社)

5月30日(木) 12:00~13:00 第9会場

座長 菊池敦生 (東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)

- LS8 重症型MPSII型の兄弟例に対するパピナフスプアルファ長期投与経験

樋口真司 (大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科)

ランチョンセミナー 9 (共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社)

5月31日(金) 12:00~13:00 第3会場

ILAE てんかん分類と作用機序から考えるてんかん治療戦略

座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部)

LS9-1 ILAE 分類をどう生かすか

日暮憲道 (東京慈恵会医科大学小児科学講座/武蔵小杉小児科・てんかんクリニック)

LS9-2 てんかん治療の最新動向

白石秀明 (獨協医科大学医学部小児科学)

ランチョンセミナー 10 (共催：アジレント・テクノロジー株式会社)

5月31日(金) 12:00~13:00 第4会場

座長 山本俊至

(東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医学系専攻遺伝子医学分野/ゲノム診療科)

LS10 小児神経疾患におけるマイクロアレイ染色体検査を用いた包括的診療

清水健司 (静岡県立こども病院遺伝染色体科)

ランチョンセミナー 11 (共催：日本新薬株式会社)

5月31日(金) 12:00~13:00 第5会場

座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)

LS11 Lennox-Gastaut 症候群の今後の治療戦略ーフェンフルラミンへの期待ー

本田涼子 (NHO 長崎医療センター小児科)

ランチョンセミナー 12 (共催：アレクシオンファーマ合同会社)

5月31日(金) 12:00~13:00 第6会場

神経線維腫症 1 型診療の up to date

座長 松尾宗明 (佐賀大学医学部附属病院小児科)

LS12 神経線維腫症 1 型の病態と分子標的薬による治療

武内俊樹 (慶應義塾大学医学部小児科学教室)

ランチョンセミナー 13 (共催：ノバルティス ファーマ株式会社)

5月31日(金) 12:00~13:00 第7会場

SMA 新生児スクリーニングの今後の展望

座長 齋藤加代子 (東京女子医科大学ゲノム診療科)

LS13-1 SMA の新生児スクリーニング公費化の展望と対応

山形崇倫 (栃木県立リハビリセンター)

LS13-2 NBS 公費化の全国展開に向けて小児神経科医に望まれること

木水友一 (大阪母子医療センター小児神経科)

ランチョンセミナー 14 (共催：クリニジェン株式会社)

5月31日(金) 12:00~13:00 第8会場

座長 大西秀典

(国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学大学院医学系研究科生殖・発育医学講座小児科学分野)

LS14-1 早期診断により乳児期早期から積極的治療が可能となったムコ多糖症Ⅱ型の一例

五十里 東 (安城更生病院新生児科)

LS14-2 酵素補充療法の新たな挑戦：中枢神経症状をいかに治療するか？

奥山虎之 (埼玉医科大学ゲノム医療科希少疾患ゲノム医療推進講座)

ランチョンセミナー 15 (共催：サノフィ株式会社)

5月31日(金) 12:00~13:00 第9会場

座長 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

LS15 ライソゾーム病の診断と治療 UPDATE

成田 綾 (医誠会国際総合病院小児科)

ランチョンセミナー 16 (共催：武田薬品工業株式会社)

6月1日(土) 12:00~13:00 第2会場

座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部高次脳疾患研究所/柳川療育センター)

LS16 ADHD 薬物療法のコツ

広瀬宏之 (横須賀市療育相談センター)

ランチョンセミナー 17 (共催：バイオジェン・ジャパン株式会社)

6月1日(土) 12:00~13:00 第3会場

座長 山形崇倫(栃木県立リハビリテーションセンター)

新生児スクリーニング時代の脊髄性筋萎縮症治療

LS17-1 村松一洋(自治医科大学)

LS17-2 荒川玲子(国立国際医療研究センター)

ランチョンセミナー 18 (共催：アストラゼネカ株式会社)

6月1日(土) 12:00~13:00 第4会場

座長 田沼直之(東京都立府中療育センター)

LS18 小児神経筋疾患における RSV 感染管理

是松聖悟(埼玉医科大学総合医療センター小児科)

ランチョンセミナー 19 (共催：リヴァノヴァ株式会社)

6月1日(土) 12:00~13:00 第5会場

薬剤抵抗性てんかん治療のゴール —QOL の改善と VNS 早期導入のメリット—

座長 白石秀明(獨協医科大学医学部小児科学)

LS19-1 患者が考える VNS と今後の可能性

小笠原音弥(NPO 法人札幌つなぐ会/迷走神経刺激療法患者)

LS19-2 てんかんにおける発作以外の治療目標を考える

住友典子(国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)

LS19-3 VNS の導入 —患者さん・家族との向き合い方—

丸山慎介(鹿児島大学病院小児科)

ランチョンセミナー 20 (共催：Alnylam Japan 株式会社)

6月1日(土) 12:00~13:00 第6会場

小児神経科医が遭遇する希少疾患

座長 瀬戸俊之(大阪公立大学大学院医学研究科臨床遺伝学)

LS20 知らないとは診断できない, siRNA 治療薬のあるこの疾患

岡崎 伸(大阪市立総合医療センター小児脳神経内科)

ランチョンセミナー 21 (共催：ジンマー・バイオメット合同会社)

6月1日(土) 12:00~13:00 第7会場

私の患者は外科適応? 基礎からわかる小児てんかん外科 —最新の適応, 手術手技と臨床成績—

座長 遠山 潤(国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)

LS21-1 データと自験例が導く小児てんかん患者の外科適応 2024 —私の患者は外科適応か? その問いに答える—

岩崎真樹(国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科)

LS21-2 小児てんかん手術はより正確に, 低侵襲に! : 脳神経外科手術支援ロボットによる低侵襲小児てんかん検査 (SEEG) の実際と手術成績

飯村康司(順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経外科)

ランチョンセミナー 22 (共催：アレクシオンファーマ合同会社)

6月1日(土) 12:00~13:00 第8会場

成長障害, 原因不明の難治性疼痛の Must Rule Out 疾患「低ホスファターゼ症 (HPP)」

座長 村山 圭(順天堂大学大学院医学系研究科難治性疾患診断・治療学)

LS22-1 見逃していませんか ALP 低値: 原因不明の疼痛, 倦怠感に潜む低ホスファターゼ症

志村 優(千葉県こども病院代謝科)

LS22-2 低ホスファターゼ症の臨床的特徴, 早期診断, 治療

森岡一朗(日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

ランチョンセミナー 23 (共催：ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部)

6月1日(土) 12:00~13:00 第9会場

座長 稲葉雄二(地方独立行政法人長野県立病院機構長野県立こども病院神経小児科)

LS23 小児 MG 治療, 拡大する治療選択肢とクリニカルクエスチョン

石垣景子(学校法人東京女子医科大学東京女子医科大学小児科学)

イブニングセミナー 1 (共催：第一三共株式会社)

5月30日(木) 19:00~19:50 第5会場

座長 根津敦夫(横浜医療福祉センター港南)

ES1 新ガイドラインからみた小児脳性麻痺痙縮治療戦略

金城 健 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児整形外科)

イブニングセミナー 2 (共催: ノバルティス ファーマ株式会社)

5月30日(木) 19:00~20:00 第6会場

小児神経領域が牽引する遺伝子治療の最前線

座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)

村松慎一 (自治医科大学)

ES2-1 最新の遺伝子治療について

村松慎一 (自治医科大学)

ES2-2 遺伝子治療の現状 Update

村松一洋 (自治医科大学)

ES2-3 ゴルゲンスマが切り開いた遺伝子治療の光

荒川玲子 (国立国際医療研究センター病院臨床ゲノム科)

スポンサードシンポジウム 1 (共催: 武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス)

5月30日(木) 14:50~16:20 第5会場

治療に難渋する ADHD の治療および支援

座長 山下裕史朗 (久留米大学高次脳疾患研究所/柳川療育センター)

SS1-1 こどもの発達と ADHD 臨床

荒木章子 (札幌市子ども発達支援総合センター)

SS1-2 治療に難渋する ADHD の子ども達に対する心理・社会的支援

榎屋二郎 (東京医科大学精神医学分野)

SS1-3 治療に難渋する ADHD 児への薬物治療ストラテジー

小平雅基 (総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科)

スポンサードシンポジウム 2 (共催: 中外製薬株式会社)

5月31日(金) 15:30~17:00 第7会場

脊髄性筋萎縮症の病態理解と治療のアップデート

座長 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)

荒川玲子 (国立国際医療研究センター病院臨床ゲノム科)

SS2-1 iPS 細胞モデルから見た SMA

齋藤 潤 (京都大学 iPS 細胞研究所)

SS2-2 マウスモデルからの SMA 病態理解

佐橋健太郎 (名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学)

SS2-3 SMA 1 型患者に対するリスジプラム長期投与

下村英毅 (兵庫医科大学小児科)

SS2-4 脊髄性筋萎縮症患者児に対するリハビリテーション

長谷川三希子 (獨協医科大学埼玉医療センター)

スポンサードシンポジウム 3 (共催: ファイザー株式会社メディカルアフェアーズ)

6月1日(土) 10:10~11:40 第6会場

筋ジストロフィーにおける multidisciplinary team と機能評価

座長 小牧宏文

(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)

SS3-1 筋ジストロフィー診療における multidisciplinary team の重要性

石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

SS3-2 筋ジストロフィーにおける機能評価のポイント

原 貴敏 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部)

関連研究会

関連研究会 1: BSID-III 研修会

乳幼児の発達を理解する~ベイリー乳幼児発達検査法の魅力とその有用性~

5月30日(木) 19:00~21:00 第4会場

座長 岩田欧介 (名古屋市立大学新生児・小児医学分野)

田中恭子 (国立研究開発法人国立成育医療研究センターこころの診療科)

RS1-1 BSID-III 概要と標準化作業

中澤 潤 (植草学園大学・植草学園短期大学)

- RS1-2 各領域の紹介 (認知・運動)
田中恭子 (国立研究開発法人国立成育医療研究センターこころの診療科)
- RS1-3 各領域の紹介 (言語・適応行動)
柿本多千代 (元富山大学附属病院周産母子センター)
- RS1-4 小児科領域での研究応用 (最近の論文から)
岩田欧介 (名古屋市立大学新生児・小児医学分野)
- RS1-5 神経発達症臨床とベイリーの有用性
田中恭子 (国立研究開発法人国立成育医療研究センターこころの診療科)

関連研究会 2：日本小児免疫性脳炎研究会

- 神経免疫疾患の分子メカニズムと新しい治療
5月30日(木) 19:00~21:00 第7会場
座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
福村 忍 (札幌医科大学小児科)
- RS2-1 小児神経分野での生物学的製剤と分子標的薬
岸 崇之 (東京女子医科大学小児科)
- RS2-2 骨髄間葉系幹細胞を用いた小児神経疾患に対する新しい治療展開
福村 忍 (札幌医科大学小児科)
- RS2-3 神経ガイドランス因子による神経免疫代謝連関
熊ノ郷 淳 (大阪大学呼吸器・免疫内科学)

関連研究会 3：第 15 回子どもの眠り研究会

- 5月30日(木) 19:00~21:00 第8会場
【一般演題】
座長 吉崎亜里香 (大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター)
野崎真紀 (昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)
- RS3-1 起床困難と睡眠延長に対してのアリピプラゾールの有効性
白井謙太郎 (土浦協同病院)
- RS3-2 15時間以上の長時間睡眠と日中の過眠症状を呈し改善した自閉スペクトラム症の一例
平田郁子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究科/大阪大学大学院医学系研究科小児科学)
- RS3-3 早産・極低出生体重児の乳幼児期における活動・睡眠特性と精神発達
中川真智子 (聖路加国際病院小児科/東邦大学医療センター大森病院新生児科)
- RS3-4 レセプトデータを用いたメラトニン顆粒使用状況についての調査
野崎真紀 (昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)
- 【特別講演】
座長 福水道郎 (東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科)
- RS3-特 時間栄養の視点で子供の睡眠を考える
柴田重信 (広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学研究室)

関連研究会 4：「小児神経の倫理を語らう会」第二回年次集会

- 5月31日(金) 19:00~21:00 第5会場
座長 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科)
笹月桃子 (早稲田大学人間科学学術院/九州大学大学院医学研究院小児科)
- RS4-1 はじめに：重篤な小児神経疾患を持つ子どものいのち・暮らしに関わる医療方針を決めることについて「語らう会」で語らうこと
岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科)
- RS4-2 臨床倫理の立場から
板井孝彦 (宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野/附属病院中央診療部門臨床倫理部)
- RS4-3 法の立場から
横野 恵 (早稲田大学社会科学部)
- RS4-4 ソーシャルワークの立場から
室岡明美 (九州大学病院医療連携センター/患者サービス課医療ソーシャルワーカー(社会福祉士/精神保健福祉士/介護支援専門員/HPS))
- RS4-5 小児看護の立場から
山崎麻朱 (千葉県こども病院副看護師長, 小児看護専門看護師, こども・家族支援センター)
- RS4-6 終わりに：子どものいのち・暮らしに関わる医療の方針を決定することについて
笹月桃子 (早稲田大学人間科学学術院/九州大学大学院医学研究院小児科)

関連研究会 5：第 9 回小児免疫性神経筋疾患研究会 (MG/CIDP 研究会)

5 月 31 日 (金) 19:00~21:00 第 4 会場

【特別講演】(共催：アレクシオンファーマ合同会社)

小児 MG と分子標的薬解説

座長 藤井克則 (国際医療福祉大学小児科)

RS5-特 補体の基礎から臨床へ ―神経疾患を中心に―

赤津裕康 (国立長寿医療研究センターロコモフレイルセンター)

【一般演題】

座長 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)

石山昭彦 (東京都立神経病院神経小児科)

RS5-1 抗 MuSK 抗体陽性の小児眼筋型 MG の 10 歳女児

星野 愛 (東京都立神経病院神経小児科)

RS5-2 全身型重症筋無力症との鑑別に苦慮している Bickerstaff 型脳幹脳炎の 1 例

松原康平 (大阪市立総合医療センター小児脳神経内科)

RS5-3 皮下注用免疫グロブリン製剤を導入した CIDP の 10 歳女児

清水有紀 (群馬県立小児医療センター神経内科)

RS5-4 難治に経過している CIDP の 4 歳男児

藤山菜摘 (熊本大学小児科)

一般演題 (口演) 1: 遺伝子 1

5月30日 (木) 9:40~10:40 第7会場

座長 小島華林 (自治医科大学小児科学)

中田智彦 (名古屋大学医学部附属病院小児科)

| | | | |
|-------|-------|--------------------|------------------------------------------------------------------------|
| O1-01 | 畑井恵理子 | 九州大学病院小児科 | 後天性眼振を示した Hypomyelination of Early Myelinating Structure の 2 歳男児 |
| O1-02 | 志村和佳 | 聖路加国際病院小児科 | 非特異的な神経発達症, 知的発達症を呈し網羅的ゲノム解析にて診断された Wiedemann-Steiner 症候群の 1 例 |
| O1-03 | 中村和幸 | 山形大学医学部小児科 | CC2D2A 遺伝子に病的な deep intron バリエントと LINE-1 挿入バリエントを認めた Meckel 症候群の 1 女児例 |
| O1-04 | 岩城利彦 | 名古屋市立大学大学院医学研究科小児科 | Schaaf-Yang 症候群モデルマウスにおける有熱時発作後の運動機能の検討 |
| O1-05 | 竹澤祐介 | 東北大学小児科 | 脳性麻痺様症例の遺伝学的背景: 91 症例の病型別遺伝学的解析結果 |
| O1-06 | 新井田 要 | 金沢医科大学病院ゲノム医療センター | 金沢医科大学病院におけるオンデマンド遺伝学的検査受託に関して |

一般演題 (口演) 2: 遺伝子 2

5月30日 (木) 10:50~11:50 第7会場

座長 山本俊至 (東京女子医科大学)

酒井康成 (九州大学)

| | | | |
|-------|-------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| O2-01 | 柴田有里 | 佐野厚生総合病院 | RNASEH2B 遺伝子のイントロン領域にホモ接合性病的バリエントを認めた最重症 Aicardi-Goutieres 症候群の女児例 |
| O2-02 | 宮崎明里 | 松戸市立総合医療センター小児医療センター小児科 | 2歳時に急性脳症で発症し, 5歳時に発熱に伴って運動失調が再増悪した ATP1A3 遺伝子関連疾患の女児 |
| O2-03 | 佐々木夏澄 | 広島市立舟入市民病院小児科 | 細胞膜伸展活性化イオンチャネルをコードする TMEM63B 変異が同定された発達性てんかん性脳症の 1 例 |
| O2-04 | 牧野道子 | 東京小児療育病院小児科 | AP-4 関連遺伝性痙性対麻痺の兄妹例 |
| O2-05 | 青木雄介 | あいち小児保健医療総合センター神経内科 | 筋骨格異常などを呈した KCNA1 チャネルopathies の 2 例 |
| O2-06 | 小川恵梨 | 慶應義塾大学医学部小児科 | 胎児期発症の Na 依存性マルチビタミントランスポーター異常症 |

一般演題 (口演) 3: 脳炎・脳症 1

5月30日 (木) 13:10~14:10 第7会場

座長 菊池健二郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

伊藤祐史 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科)

| | | | |
|-------|-------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| O3-01 | 横田有紀 | 兵庫県立尼崎総合医療センター小児科 | Dexamethasone 髄腔内投与が著効した FIRES の乳児例 |
| O3-02 | 藤川紘志朗 | 北九州市立八幡病院小児神経内科 | 急性期にケトン食療法が奏効した Febrile infection-related epilepsy syndrome の 1 例 |
| O3-03 | 落合健太 | 東京女子医科大学八千代医療センター小児科 | Febrile infection related epilepsy syndrome (FIRES) の急性期に perampanel を投与した 1 例 |
| O3-04 | 河田奈々子 | 東京都立小児総合医療センター神経内科 | 可逆性後部白質脳症症候群の後に海馬硬化を伴うてんかんを発症した 3 例 |
| O3-05 | 九鬼一郎 | 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科 | 持続脳圧モニタリングから見た急性脳炎・急性脳症の病態解明 |
| O3-06 | 柏木 充 | 市立ひらかた病院小児科 | 脳梁膨大部病変が 4 回再発した女児例の経過 |

一般演題 (口演) 4: 脳炎・脳症 2

5月30日 (木) 14:20~15:20 第7会場

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)
福山哲広 (信州大学医学部小児医学教室)

| | | | |
|-------|-------|-------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 04-01 | 福岡正隆 | 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科 | B 群溶血性連鎖球菌髄膜炎例のてんかん予後 |
| 04-02 | 浜本麻希 | 社会医療法人愛仁会高槻病院小児科 | 当院の遅発型 Group B streptococcus 髄膜炎 7 例の臨床的検討 |
| 04-03 | 亀田聡子 | 自治医科大学データサイエンスセンター | 小児の細菌性髄膜炎における早期ステロイド投与と臨床転帰との関連: 後ろ向きコホート研究 |
| 04-04 | 大庭 梓 | 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科 | 当院における Film Array 髄膜炎・脳炎パネル導入前後の新生児・乳児早期発熱症例の検討 |
| 04-05 | 丸谷健太郎 | 福岡市立こども病院小児神経科 | FilmArray 髄膜炎/脳炎パネル (FA-M/E) で HHV-6 陽性の臨床的意義についての検討 |
| 04-06 | 向野文貴 | 山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座 | HHV-6 脳炎として治療した inherited chromosomally integrated HHV-6 の 1 例 |

一般演題 (口演) 5: 脳炎・脳症 3

5月30日 (木) 15:30~16:30 第7会場

座長 山中 岳 (東京医科大学小児科・思春期科学分野)
多田弘子 (千葉県済生会習志野病院小児科)

| | | | |
|-------|------|----------------------------|----------------------------------------|
| 05-01 | 乾 健彦 | 宮城県立こども病院神経科 | 集中治療を要する有熱性けいれん重積 39 例の非てんかん性けいれん重積の検討 |
| 05-02 | 藤井聡子 | 国立成育医療研究センター神経内科 | 下痢原性溶血性尿毒症症候群に併発する脳症の神経学的予後因子についての検討 |
| 05-03 | 相原健志 | 国立成育医療研究センター小児内科系専門診療部神経内科 | 出血性ショック脳症症候群の既存の診断基準は早期診断に有用ではない |
| 05-04 | 鈴木基正 | あいち小児保健医療総合センター神経内科 | 急性劇症脳浮腫を呈する急性脳症の臨床的特徴 |
| 05-05 | 松原康平 | 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科 | 超難治性てんかん重積状態を呈した小児症例の臨床的検討 |
| 05-06 | 徳元翔一 | 神戸大学大学院医学研究科小児科 | 前向き多施設レジストリにより明らかにする急性脳症の特徴 |

一般演題 (口演) 6: 脳性麻痺

5月30日 (木) 9:40~10:40 第8会場

座長 根津敦夫 (横浜医療福祉センター港南)
丸山幸一 (愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科)

| | | | |
|-------|--------|--------------------------|------------------------------------------------------------|
| 06-01 | 松永愛香 | 鹿児島大学病院小児科 | 当院で Intrathecal Baclofen (ITB) 療法を行った 5 例の報告 |
| 06-02 | 猪谷俊輝 | 宮城県立こども病院リハビリテーション・発達支援部 | 選択的脊髄後根切断術と術後の集中的リハビリテーションが有効であった ZC4H2 遺伝子変異による痙性対麻痺の 1 例 |
| 06-03 | 松本葉子 | 東京都立府中療育センター | 側弯症は何か問題か — ナチュラルヒストリーを変えうる取り組み — |
| 06-04 | 田邊 良 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター | 呼吸ケアチームによる呼吸ケア外来の活動報告とアドバンス・ケア・プランニングを含めた可能性の考察 |
| 06-05 | 河崎洋子 | 神戸医療福祉センターにこにこハウス | 在宅重症心身障害児者の入院経過の検討 |
| 06-06 | 佐々木満ちる | 鳥取大学大学院医学系研究科 | 鳥取県における医療的ケア児・者の 15 年間の推移と臨床的特徴 |

一般演題 (口演) 7: 不随意運動・その他

5月30日(木) 10:50~11:50 第8会場

座長 赤坂真奈美 (岩手医科大学医学部小児科学講座)
鳥巢浩幸 (福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野)

| | | | |
|-------|--------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 07-01 | 川井未知子 | 医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック | 瀬川病の全国調査 第1報 一性差, 家族歴, 初発症状— |
| 07-02 | 檜原 翔 | 愛知県三河青い鳥医療療育センター小児科 | 瀬川病の三次元歩行解析 |
| 07-03 | 星野恭子 | 医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック | 瀬川病の全国調査 第2報 一検査, 治療, 非運動症状, 妊娠歴等— |
| 07-04 | 川本昌平 | 兵庫県立こども病院小児集中治療科 | 小児蘇生後症例の神経学的瞳孔指数による転帰の予測 |
| 07-05 | 佐々木彩恵子 | 京都大学医学部附属病院小児科 | 超高磁場 MR スペクトロスコピーを用いた神経線維腫症 1 型における認知機能障害の神経基盤の解明 |
| 07-06 | 平松泰好 | 北海道大学病院小児科 | Advanced Dynamic Statistical Parametric Mapping (AdSPM) を用いた MRI 陰性 FCD 2 型の局在診断 |

一般演題 (口演) 8: 発達・神経発達症 1

5月30日(木) 13:10~14:10 第8会場

座長 島川修一 (大阪医科薬科大学病院小児科)
大野敦子 (豊田市こども発達センター)

| | | | |
|-------|-------|-----------------------------|---------------------------------------------------|
| 08-01 | 大羽沢子 | 鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター | 算数障害中核症状への早期介入プログラムと改訂版トレーニングアプリとその効果 |
| 08-02 | 末田慶太郎 | 札幌市子ども心身医療センター | 算数障害をもつ小中学生の特徴: KABC2 習得尺度 (算数尺度), 読み書き障害の有無に注目して |
| 08-03 | 柳生一自 | 北海道医療大学心理科学部 | 読み書き困難のある受診児童のプロフィールとグループ化 |
| 08-04 | 栗原亜紀 | 都立府中療育センター小児科 | 地域中核療育センターでの発達障害診療 |
| 08-05 | 内川英紀 | 東千葉メディカルセンター小児科 | 東金市の幼児健診における発達調査 |
| 08-06 | 川村 葵 | 神戸大学大学院医学研究科小児科 | 3歳時の朝食習慣と小学1年生での学力との関連: 尼崎市の人口ベースコホート研究 |

一般演題 (口演) 9: 発達・神経発達症 2

5月30日(木) 14:20~15:20 第8会場

座長 矢野珠巨 (秋田県立医療療育センター小児科)
関 あゆみ (北海道大学教育学研究院)

| | | | |
|-------|-------|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 09-01 | 永田浩一 | 愛知県医療療育総合センター発達障害研究所分子病態研究部 | CEP152 変異マウスを用いた Seckel 症候群の病態メカニズムの解明 |
| 09-02 | 山川和弘 | 名古屋市立大学大学院医学研究科神経発達症遺伝学分野 | mPFC と VTA での Nav1.2 欠損は PPI に相反する効果を持つ: SCN2A から自閉症と統合失調症の発症神経回路を探る |
| 09-03 | 恵 明子 | 久留米大学病院小児科 | くるめ STP が前頭前野の活動および描画動態に及ぼす効果 —パイロットスタディー— |
| 09-04 | 鞍谷沙織 | 国立成育医療研究センター緩和ケア科 | 脳性麻痺児者は病院でどのような最期を迎えているのか —DPC データを用いた終末期積極的治療の実態— |
| 09-05 | 温井めぐみ | 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児言語科 | 高次脳機能障害を呈した小児脳腫瘍経験者における二次障害発症のリスク因子 |
| 09-06 | 永江彰子 | びわこ学園医療福祉センター草津小児科 | ミキサー食注入による腸内細菌叢への効果 |

一般演題 (口演) 10 : 発達・神経発達症 3

5月30日(木) 15:30~16:30 第8会場

座長 沢石由記夫 (秋田県立医療療育センター小児科)
鈴木雄一 (福島県立医科大学小児科)

| | | | |
|--------|------|-----------------------------|--------------------------------------------------|
| O10-01 | 岩谷祥子 | 大阪大学大学院連合小児発達学研究所 | 自閉スペクトラム症における脳波検査時期の検討 |
| O10-02 | 川崎幸彦 | 福島県総合療育センター小児科 | 薬物療法を要する ADHD 患者の特徴と当センターでの薬物療法の現状 |
| O10-03 | 山岸裕和 | 国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園小児科 | 中学卒業までの注意欠陥多動症児に対するメチルフェニデート内服終了に関わる因子 |
| O10-04 | 増田卓哉 | 栃木県立リハビリテーションセンター | ADHD 治療におけるリスデキサメフェタミンメシル酸塩とメチルフェニデート塩酸塩との安全性の比較 |
| O10-05 | 岡 牧郎 | 国立成育医療研究センターこころの診療科 | 発達性ディスレクシア児の読解力や統語の評価から考える医療介入の終了時期について |
| O10-06 | 森 健治 | 徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野 | 読字障害を有する小学生における NIRS を用いた脳機能評価 |

一般演題 (口演) 11 : てんかん 1

5月30日(木) 9:40~10:40 第9会場

座長 藤本礼尚 (聖隷浜松病院)
本田涼子 (NHO 長崎医療センター小児科)

| | | | |
|--------|-------|-------------------------|-------------------------------------------------------|
| O11-01 | 白水洋史 | 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科 | 既往手術のある視床下部過誤腫における残存発作に対する MR ガイド定位温熱凝固術の有用性 |
| O11-02 | 鈴木皓晴 | 順天堂大学脳神経外科 | 結節性硬化症に対するてんかん外科治療の有用性 |
| O11-03 | 西岡和輝 | 順天堂大学医学部附属静岡病院脳神経外科 | 難治性てんかんに対する Vagus nerve stimulation の治療成績 — 小児例での検討 — |
| O11-04 | 飯村康司 | 順天堂大学医学部脳神経外科 | 早期大脳半球離断術が神経発達に及ぼす影響 |
| O11-05 | 西口奈菜子 | 国立病院機構長崎医療センター小児科 | 病型分類、術式によらずてんかん手術は術後1年間の発達を好転させる可能性がある |
| O11-06 | 小林揚子 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | 限局性皮質異形成に伴う小児薬剤抵抗性てんかん患者における外科治療後の発達予後 |

一般演題 (口演) 12 : てんかん 2

5月30日(木) 10:50~11:50 第9会場

座長 榎 日出夫 (川崎医科大学小児科)
深沢達也 (安城更生病院小児科)

| | | | |
|--------|-------|-------------------------|------------------------------------------------------------------|
| O12-01 | 中川栄二 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | てんかん重積状態もしくはそのリスクを有する日本人小児患者に対するジアゼパム点鼻液の第3相多施設共同非盲検試験 |
| O12-02 | 小一原玲子 | 埼玉県立小児医療センター保健発達部 | 小児および若年欠伸てんかんに対するレベチラセタムの有効性 |
| O12-03 | 須貝研司 | 重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎小児科 | 添付文書にないクラリスロマイシンと抗けいれん薬の相互作用 |
| O12-04 | 竹内博一 | 埼玉県立小児医療センター神経科 | てんかん性スパズムに対する病因別のピガバトリンの有効性 |
| O12-05 | 松浦隆樹 | 埼玉県立小児医療センター神経科 | 脳室周囲白質軟化症を病因にもつ Infantile epileptic spasms syndrome に対する ACTH 療法 |
| O12-06 | 山田美香 | 福島県立医科大学小児科 | 当施設における West 症候群に対する漸減法を用いない低容量 ACTH 療法の治療効果と副作用の検討 |

一般演題（口演）13：代謝・神経変性疾患 1

5月30日（木）13:10～14:10 第9会場

座長 濱崎考史（大阪公立大学医学研究科発達小児医学）
久保田一生（岐阜大学大学院医学系研究科小児科学）

| | | | |
|--------|-------|-----------------------|----------------------------------------------|
| O13-01 | 伊藤智城 | 市立札幌病院小児科 | HIBCH 遺伝子異常に伴う Leigh 症候群 蛋白制限食治療の経過 |
| O13-02 | 秋庭崇人 | 順天堂大学小児科 | 致死性劇症肺炎を示した FBXL4 遺伝子関連ミトコンドリア DNA 枯渇症候群の兄弟例 |
| O13-03 | 植松有里佳 | 東北大学病院小児科 | HPDL 遺伝子異常症では、CoQ10 欠乏が認められる |
| O13-04 | 老谷嘉樹 | 東京女子医科大学附属足立医療センター小児科 | ECHS1 遺伝子の同義置換による病的バリエーションで発症した Leigh 脳症の一例 |
| O13-05 | 園田有里 | 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 | 進行性ミオクロノスアテんかんを示した NGLY1 関連先天性脱グルコシル化障害の男児 |
| O13-06 | 伊藤 康 | 東京女子医科大学小児科 | Glut1 欠損症における状況関連発作とてんかん発作との鑑別ポイント |

一般演題（口演）14：代謝・神経変性疾患 2

5月30日（木）14:20～15:20 第9会場

座長 酒井規夫（医誠会国際総合病院難病医療推進センター）
福田冬季子（浜松医科大学浜松成育医療学講座）

| | | | |
|--------|-------|----------------------------|-----------------------------------------------------------|
| O14-01 | 白井真規 | 長野県立こども病院神経小児科 | 長野県における脊髄性筋萎縮症に対する拡大新生児スクリーニングの現状 |
| O14-02 | 土屋弘樹 | 岡山大学病院小児神経科 | 髄液グリシン濃度の解釈におけるいくつかの pit fall |
| O14-03 | 颯佐かおり | 埼玉医科大学病院小児科 | 脳波検査は副腎白質ジストロフィーの造血幹細胞移植適応判断に有用か？ |
| O14-04 | 齋藤加代子 | 東京女子医科大学ゲノム診療科 | ENDEAR/SHINE 試験における小児期 SMA 児の複合筋活動電位の経時的変化と運動機能転帰との関連 |
| O14-05 | 荒川玲子 | 国立国際医療研究センター病院臨床ゲノム科 | 歩行器介助下の歩行を獲得した脊髄性筋萎縮症 0 型の経過からみる combination therapy の有効性 |
| O14-06 | 立木伸明 | 国立成育医療研究センター小児内科系専門診療部神経内科 | ランゲルハンス組織球症関連中枢神経変性症：神経症状と画像所見の比較 |

一般演題（口演）15：COVID-19・その他

5月30日（木）15:30～16:10 第9会場

座長 永光信一郎（福岡大学医学部小児科学講座）
是松聖悟（埼玉医科大学総合医療センター小児科）

| | | | |
|--------|-------|-------------------------|------------------------------------------------------|
| O15-01 | 佐藤孝俊 | 東京女子医科大学小児科 | 本邦における COVID-19 罹患筋疾患患者の実態調査 |
| O15-02 | 菊池健二郎 | 埼玉県立小児医療センター神経科 | コロナ禍で電話診療を利用したてんかん患者保護者の満足度調査 |
| O15-03 | 横関紗帆 | 自治医科大学小児科 | ステロイドパルス療法によりウイルス排泄が遅延し、著明な高 CK 血症が遷延した COVID-19 感染症 |
| O15-04 | 大野綾香 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | 当施設における神経疾患患者の移行期医療の現状について |

一般演題 (口演) 16: 新生児 1

5月31日 (金) 9:40~10:40 第8会場

座長 加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
竹内章人 (国立病院機構岡山医療センター新生児科・小児神経内科)

| | | | |
|--------|------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| O16-01 | 前田知己 | 大分大学医学部小児科 | 多評価者連携 General Movements 評価実践システムの有効性調査 |
| O16-02 | 河南幸乃 | 地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院小児科 | 当院で出生した超早産児の3歳および6歳時の発達予後 |
| O16-03 | 和田友香 | 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター新生児科 | 超緊急帝王切開で出生した児の短期・長期予後調査 |
| O16-04 | 川崎幸彦 | 福島県総合療育センター小児科 | 低出生体重児, 不当軽量児, 早産児を有した ADHD 患児の臨床疫学的な特徴 |
| O16-05 | 石川千絵 | 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 | 早産児における自閉症スペクトラム傾向と WISC-IV, K-ABCII (習得検査), DAM (人物画知能検査) の関連について |
| O16-06 | 白木杏奈 | 名古屋大学大学院医学系研究科小児科 | 早産児脳波の自発神経活動に関連する脳へモダイナミクス |

一般演題 (口演) 17: 新生児 2

5月31日 (金) 10:50~11:50 第8会場

座長 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
短田浩一 (京都第一赤十字病院小児科)

| | | | |
|--------|-------|-----------------------|-------------------------------------------|
| O17-01 | 成田 肇 | 名古屋大学大学院医学系研究科小児科 | 先天性サイトメガロウイルス感染症の頭部 MRI 所見の出現頻度と経時的変化 |
| O17-02 | 隈井すみれ | 名古屋大学大学院医学系研究科小児科 | 胆道閉鎖症小児の神経発達予後と拡散テンソル画像における白質の微細構造異常との関連 |
| O17-03 | 竹尾俊希 | 安城更生病院小児科 | 10年間に当院で実施された中枢神経系における胎児画像診断の検討 |
| O17-04 | 日高欣哉 | キッズ&ファミリークリニック出口小児科医院 | 早産児および神経発達症児の視覚認知の特徴 (第4報) |
| O17-05 | 山瀬聡一 | 日本大学医学部小児科 | 早産児における視覚認知機能 (第3報): 早産児の視線パターン |
| O17-06 | 山瀬聡一 | 日本大学医学部小児科 | 早産児における視覚認知機能 (第2報): 早産児の視線解析装置の適切な使用開始時期 |

一般演題 (口演) 18: 脳炎・脳症 4

5月31日 (金) 13:10~14:10 第8会場

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)

| | | | |
|--------|------|--------------------------|------------------------------------------|
| O18-01 | 山本啓之 | 名古屋大学大学院医学系研究科小児科 | COVID-19 の流行による小児急性脳症の発症数, タイプ, 重症度変化の検討 |
| O18-02 | 山口 宏 | 神戸大学大学院医学研究科小児科 | 急性脳症患者における治療介入前後の血清 GDF-15 の経時的推移 |
| O18-03 | 老川静香 | 神戸大学大学院医学研究科小児科 | 有熱性てんかん重積状態における髄液神経傷害バイオマーカーの検討 |
| O18-04 | 鳥居健一 | 東京歯科大学市川総合病院小児科 | TRH 療法で運動機能の改善を見た急性脳症の1例 |
| O18-05 | 相川拓哉 | 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院小児科 | 二次性カルニチン欠乏症による急性脳症の1例 |
| O18-06 | 伊藤嘉規 | 愛知医科大学医学部小児科 | 臍帯組織による先天性サイトメガロウイルス感染症診断の意義と中央診断体制の構築 |

一般演題 (口演) 19: 脳炎・脳症 5

5月31日 (金) 14:20~15:20 第8会場

座長 永瀬裕朗 (神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野)
根岸 豊 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野)

| | | | |
|--------|---------|--------------------|------------------------------------------------------------------|
| O19-01 | 平良遼志 | 福岡市立こども病院小児神経科 | 小児期発症の多発性硬化症に対するフマル酸ジメチルの使用経験 |
| O19-02 | 出雲大幹 | 広島大学病院小児科 | 定期免疫グロブリン投与による再発予防治療を行っている Encephalomyeloradiculoneuropathy の小児例 |
| O19-03 | チョンビンフィ | 九州大学大学院医学研究院成長発達医学 | 急性弛緩性麻痺と関連疾患の 2019-2022 動向 |
| O19-04 | 米元耕輔 | 九州大学小児科 | ヒト誘導ミクログリアが示す多様な免疫応答はミトコンドリア脆弱性に関連する |
| O19-05 | 高橋幸利 | 静岡てんかん神経医療センター | 髄液 cell-based assay 陽性抗 NMDA 受容体脳炎の予後: 治療合併症の影響 |
| O19-06 | 池本 智 | 東京慈恵会医科大学小児科学講座 | 脳梁膨大部病変が先行した自己免疫性 GFAP アストロサイトパチーの 1 例 |

一般演題 (口演) 20: 脳炎・脳症 6

5月31日 (金) 15:30~16:30 第8会場

座長 九鬼一郎 (大阪市立総合医療センター小児脳神経内科)
森地振一郎 (東京医科大学小児科・思春期科学分野)

| | | | |
|--------|-------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| O20-01 | 星出まどか | 山口大学医学部小児救急地域医療 | 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症における体温管理療法と脳症後てんかんの関係についての検討 |
| O20-02 | 相馬健人 | 兵庫県立こども病院神経内科 | 有熱性けいれん重積に対する初期治療までの時間と入院後治療・転帰の関係 |
| O20-03 | 安河内 悠 | 東京女子医科大学八千代医療センター小児科 | 二相性臨床経過と遅発性拡散能低下を呈する乳児頭部外傷 (TBIRD) の発症因子の検討 |
| O20-04 | 一ノ瀬文男 | 国立病院機構嬉野医療センター小児科 | 小児有熱時けいれん重積におけるけいれん重積型 (二相性) 急性脳症の発症に関する前向き研究 |
| O20-05 | 西岡 誠 | 長野県立こども病院神経小児科 | けいれん重積型急性脳症後のてんかん発症に関する危険因子の検討 |
| O20-06 | 河野 剛 | 聖マリア病院小児科 | 二相性脳症における Remote ischaemic Postconditioning (RIPoC) の脳低温療法に対する追加治療の安全性, 効果の検討 |

一般演題 (口演) 21: てんかん 3

5月31日 (金) 9:40~10:40 第9会場

座長 今井克美 (NHO 静岡てんかん・神経医療センター)
鈴木健史 (岡崎市民病院小児科)

| | | | |
|--------|------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| O21-01 | 玉浦 萌 | 地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立舟入市民病院小児科 | Dravet 症候群に対する Stiripentol 併用下での Fenfluramine の使用実態の検討 |
| O21-02 | 高橋 努 | 済生会宇都宮病院小児科 | ドラベ症候群に対するフェンフルラミン塩酸塩 (フィンテブラ) の使用経験 |
| O21-03 | 上田拓耶 | 兵庫県立こども病院 | Dravet 症候群におけるてんかん重積発作または発作群発後の再発予防としてのレベチラセタムとホスフェニトインの有効性 |
| O21-04 | 山内泰輔 | 東京医科歯科大学小児科 | 当院で経験した睡眠時棘徐波活性化を示すてんかん性脳症の臨床的検討 |
| O21-05 | 北原 光 | 大阪医科薬科大学小児科 | 18 トリソミー児 15 例のフォローアップ結果: てんかん発症とその臨床的特徴 |
| O21-06 | 柳原恵子 | 大阪母子医療センター小児神経科 | 思春期に顕著な悪化を認めた Glucose transporter-1 異常症の症例 |

一般演題 (口演) 22 : てんかん 4

5月31日 (金) 10:50~11:50 第9会場

座長 日暮憲道 (東京慈恵会医科大学小児科学講座)
沼本真吾 (聖隷浜松病院小児神経科)

| | | | |
|--------|------|------------------------|---------------------------------------------------------------|
| O22-01 | 井上岳司 | 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科 | てんかん性スパズムを呈する症例の検討: 1歳未満, 1-2歳, 2歳より年長発症; 3群での比較 |
| O22-02 | 水谷聡志 | NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科 | 片側孔脳症による Infantile epileptic spasms syndrome の検討 |
| O22-03 | 森 篤志 | 滋賀県立小児保健医療センター | West 症候群に一側性瞬目の subtle spasms を認めた児の側方徴候についての検討 |
| O22-04 | 鈴木良輔 | 名古屋大学大学院医学系研究科小児科 | 機械学習による治療前脳波を用いた原因不明の乳児てんかん性スパズム症候群の予後予測と、発作予後不良例の特徴についての検討 |
| O22-05 | 澤村 文 | 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学 | 原因不明の乳児てんかん性スパズム症候群における乳児から学童期までの白質変化: 拡散テンソルトラクトグラフィによる経時的評価 |
| O22-06 | 白水洋史 | 国立病院機構西新潟中央病院機能脳神経外科 | 視床下部過誤腫の適切な診断について |

一般演題 (口演) 23 : 神経筋疾患 1

5月31日 (金) 13:10~14:10 第9会場

座長 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
竹下絵里 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)

| | | | |
|--------|-------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| O23-01 | 李 知子 | 兵庫医科大学小児科学 | デュシェンヌ型筋ジストロフィー小児例における約3年間のビルトラルセン治療経過 |
| O23-02 | 今井 憲 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | ビルトラルセンを導入したデュシェンヌ型筋ジストロフィーにおける下肢筋 MRI の検討 |
| O23-03 | 米野翔太 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | Duchenne 型筋ジストロフィーの起立時間の自然歴に関する単施設後方視的検討 |
| O23-04 | 荒井 篤 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | エクソン 53 スキッピング治療を行っているデュシェンヌ型筋ジストロフィーの心機能の検討 |
| O23-05 | 佐伯淳二郎 | 神戸大学医学部 | Duchenne 型筋ジストロフィー患者に対するプレドニゾロンの歩行能力への影響と ACTN3 遺伝型の関連 |
| O23-06 | 小牧宏文 | 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター | EMBARK : DMD における delandistrogene moxeparvec (SRP-9001) の有効性及び安全性を評価する第 III 相国際共同臨床試験 |

一般演題 (口演) 24 : 神経筋疾患 2

5月31日 (金) 14:20~15:20 第9会場

座長 服部文子 (名古屋市立大学医学部附属東部医療センター小児科)
米川貴博 (三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座小児科学分野)

| | | | |
|--------|-------|---------------------|-----------------------------------------------------------|
| O24-01 | 前田和宏 | 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 | ミオスタチン-b の産生を促すアンチセンス核酸の長期投与はデュシェンヌ型筋ジストロフィーモデルマウスの筋力を増す |
| O24-02 | 佐藤逸美 | 北海道大学医学部小児科学教室 | Duchenne 型筋ジストロフィーモデルラット細胞を用いたミトコンドリア呼吸能活性化による治療介入検討 |
| O24-03 | 渡辺小百合 | ヤンセンファーマ株式会社 | 新規 FcRn 拮抗薬 Nipocalimab による全身型重症筋無力症 (gMG) を対象とした臨床開発について |
| O24-04 | 南部静紀 | 神戸大学大学院医学研究科小児科 | 尿に排泄されるタイチンの N 末端断片はカルパイン 3 が分解した産物ではない |
| O24-05 | 中島 健 | 大阪母子医療センター小児神経科 | 小児期発症の重症筋無力症に対する胸腺摘出術の有効性 |
| O24-06 | 木村重美 | 熊本託麻台リハビリテーション病院小児科 | カテプシン K 阻害剤によるデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療の可能性 |

一般演題 (口演) 25: 頭痛・自律神経・睡眠

5月31日(金) 15:30~16:30 第9会場

座長 加藤善一郎 (岐阜大学大学院医学系研究科小児科学)
安藤直樹 (城西こどもクリニック)

| | | | |
|--------|------|----------------------|--------------------------------------------|
| O25-01 | 野崎真紀 | 昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック | メラトニン顆粒小児用の適応外使用についての検討 |
| O25-02 | 栗原栄二 | 北原ライフサポートクリニック小児神経内科 | 遷延性起立性低血圧に対する漢方治療の有用性 |
| O25-03 | 杉山延喜 | JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院小児科 | 小児期起立性調節障害における安静時アデニル酸シクラーゼ活性量の変化について |
| O25-04 | 樋口 司 | 長野県立こども病院総合小児科 | 小児専門医療施設における頭痛外来 |
| O25-05 | 佐藤睦美 | 小田原市立病院小児科 | 中心静脈ポートを造設し急性期管理を試みた小児交互性片麻痺の一例 |
| O25-06 | 石川明雄 | 山形大学医学部小児科 | 反復する急性脳症と診断されていた孤発性片麻痺性片頭痛の1例における経時的な脳血流変化 |

一般演題 (口演) 26: てんかん5

6月1日(土) 8:30~9:30 第7会場

座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)
堀 いくみ (愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院小児科)

| | | | |
|--------|-------|---------------------|----------------------------------------------------------------|
| O26-01 | 小林良行 | 広島大学病院小児科 | 中心・側頭部棘波を示す非定型小児てんかんの長期フォローアップ経過について |
| O26-02 | 太田健人 | 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科 | 注意欠如・多動症または自閉スペクトラム症が併存するてんかんの予後 |
| O26-03 | 生田陽二 | 東小金井小児神経・脳神経内科クリニック | てんかんを心配して受診した乳児の主訴に関する分析 |
| O26-04 | 藤本礼尚 | 聖隷浜松病院てんかんセンター | Seizure もしくは suspected seizure における救急搬送、初回と複数回の軽症度の違い—搬送方法の再考— |
| O26-05 | 宮里良大 | 東邦大学医療センター佐倉病院小児科 | 治療経過に伴う発作頻度と保護者のスティグマとの関連 |
| O26-06 | 富 雄太郎 | 東邦大学医療センター佐倉病院小児科 | 治療経過に伴う発作頻度と疲労感との関連 |

一般演題 (口演) 27: てんかん6

6月1日(土) 9:40~10:40 第7会場

座長 糸見和也 (あいち小児保健医療総合センター神経内科)
岡西 徹 (鳥取大学脳神経小児科)

| | | | |
|--------|-------|---------------------|-------------------------------------------------------------|
| O27-01 | 荒川篤康 | 群馬大学医学部附属病院 | けいれん重積型急性脳症急性期にてんかんを発症した結節性硬化症の一例 |
| O27-02 | 加藤実咲 | 埼玉県立小児医療センター神経科 | てんかん発作が疑われた四肢強直肢位の反復が、点状軟骨異形成症に合併した頸部脊柱管狭窄症による脊髄圧迫症状と判明した1例 |
| O27-03 | 野田麻里絵 | 福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野 | 一過性の意識減損を呈し定型欠神発作と鑑別を要した HIHARSAA の1例 |
| O27-04 | 大場千鶴 | 市立ひらかた病院小児科 | 抱水クロラルの投与によりてんかん発作の在宅管理が可能となった全前脳胞症の一例 |
| O27-05 | 池野 充 | 順天堂大学小児科 | セフェピム脳症を合併したバーキットリンパ腫の8歳男児例 |
| O27-06 | 矢部友奈 | NHO 静岡てんかん・神経医療センター | 2つの体細胞変異が検出された限局性皮質異形成症例の臨床的検討 |

一般演題 (口演) 28: 脳炎・脳症 7

6月1日(土) 10:50~11:50 第7会場

座長 後藤知英 (神奈川県立こども医療センター神経内科)
西山将広 (兵庫県立こども病院神経内科)

| | | | |
|--------|-------|--------------------|------------------------------------------------|
| O28-01 | 長谷川愛莉 | 東京慈恵会医科大学小児科 | ミエリンオリゴデンドロサイト糖蛋白質抗体関連疾患において左内頸動脈の狭窄を呈した13歳男子例 |
| O28-02 | 浅倉佑太 | 自治医科大学小児科 | 再発予防にタクロリムスを選択したMOG抗体関連疾患の13歳男子例 |
| O28-03 | 志手弥生 | 奈良県総合医療センター小児科 | 急性期に超難治性てんかん重積を呈したMOG抗体関連皮質脳炎の1例 |
| O28-04 | 松田慎平 | 順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科 | 当院関連施設で経験した小児MOGADの再発4症例 |
| O28-05 | 石田航平 | 札幌医科大学附属病院小児科 | 当科で経験した抗MOG抗体関連疾患の小児7例の臨床的検討 |
| O28-06 | 星野 愛 | 東京都立神経病院神経小児科 | 小児抗MOG抗体関連疾患13例の臨床的特徴 |

一般演題 (口演) 29: 遺伝・先天異常 1

6月1日(土) 8:30~9:30 第8会場

座長 石原尚子 (藤田医科大学医学部小児科学)
稲葉美枝 (愛知県医療療育総合センター中央病院小児内科遺伝診療科)

| | | | |
|--------|-------|------------------------|-------------------------------------------------|
| O29-01 | 田中裕大 | 聖マリア病院リハビリテーション室 | 視線解析装置を用いた Rett 症候群患者の視覚機能評価に関する検討 |
| O29-02 | 西條晴美 | 東京都立東大和療育センター | 小児期発症のパーキンソニズムを呈しMECP2遺伝子のC末端に短縮型変異を認めた成人女性例 |
| O29-03 | 宮下光洋 | NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科 | CDKL5-DEE 男児例におけるてんかんの臨床像 |
| O29-04 | 坂川由里歌 | 東京都立墨東病院小児科 | CUL4B 遺伝子バリエーションによる Cabezas 症候群の1例 |
| O29-05 | 山川康平 | 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科 | Protocadherin-19 (PCDH19) 関連症候群に限局性皮質異常形成を伴った1例 |
| O29-06 | 後藤菜香乃 | 埼玉県立小児医療センター神経科 | CACNA1A 遺伝子変異を認めた片側けいれん・片麻痺・てんかん症候群の1例 |

一般演題 (口演) 30: 遺伝・先天異常 2

6月1日(土) 9:40~10:40 第8会場

座長 千代延友裕 (京都府立医科大学附属病院遺伝子診療部)
青天目 信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

| | | | |
|--------|-------|-----------------------------|--------------------------------------------------------|
| O30-01 | 平出拓也 | 浜松医科大学小児科 | TPRKB 遺伝子に新規病的バリエーションを同定した Galloway-Mowat syndrome の1例 |
| O30-02 | 田畑健士郎 | 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部 | 先天性大脳白質形成不全症に関する全国疫学調査 (2023年) |
| O30-03 | 西澤日花里 | 大阪大学大学院医学系研究科小児科 | 大阪府内での結節性硬化症に対する mTOR 阻害薬の使用状況 |
| O30-04 | 林 俊哲 | 宮城県立こども病院脳神経外科 | 頭蓋変形外来に隠れている頭蓋縫合早期癒合症 |
| O30-05 | 松重武志 | 山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科 | 小児 Chiari 奇形 1 型の単施設 10 年間の後方視的調査 |
| O30-06 | 岩崎智裕 | 自治医科大学小児科 | 脳室内髄膜腫術後に神経線維腫症 2 型の診断に至った 3 歳男児 |

一般演題 (口演) 31: 遺伝・先天異常 3

6月1日 (土) 10:50~11:50 第8会場

座長 大守伊織 (岡山大学学術研究院教育学域)
清水健司 (静岡県立こども病院)

| | | | |
|--------|-------|-----------------------|-------------------------------------------------|
| O31-01 | 赤羽裕一 | 旭川医科大学小児科 | MECP2 重複症候群モデル神経細胞の表現型解析と microRNA-199a の病態への関与 |
| O31-02 | 森 達夫 | 徳島大学医学部小児科 | X 染色体不活化パターンの偏りにより発症した可能性のある L1 症候群の女児例 |
| O31-03 | 三谷忠宏 | 自治医科大学小児科学講座 | 知的発達症を呈し成人期に急激に認知機能低下を示した ATR-16 症候群例 |
| O31-04 | 岡崎哲也 | 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科 | 発達遅滞/知的能力障害症例に対する遺伝学的検査実施に関する意識調査 |
| O31-05 | 久保田雅也 | 島田療育センター小児科 | アイトラッカーを使ってゲームや描画を行っている 18 トリソミー 11 才女児 |
| O31-06 | 小野浩明 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科 | Beckwith-Wiedemann 症候群との鑑別を要した Sotos 症候群の 1 例 |

一般演題 (口演) 32: 神経筋疾患 3

6月1日 (土) 8:30~9:30 第9会場

座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター)
木水友一 (大阪母子医療センター小児神経科)

| | | | |
|--------|-------|----------------------|---------------------------------------------------------------------|
| O32-01 | 齋藤加代子 | 東京女子医科大学ゲノム診療科 | SUNFISH: 脊髄性筋萎縮症 (SMA) II 型及び III 型患者におけるリズジプラム 48 ヶ月継続投与時の有効性及び安全性 |
| O32-02 | 竹島泰弘 | 兵庫医科大学小児科 | FIREFISH: 脊髄性筋萎縮症 (SMA) I 型患者におけるリズジプラムの 48 ヶ月継続投与時の有効性及び安全性 |
| O32-03 | 木水友一 | 大阪母子医療センター | 遺伝子治療を実施した脊髄性筋萎縮症の 4 症例: 新生児スクリーニングと通常の診療で診断された症例の違い |
| O32-04 | 久保田一生 | 岐阜大学大学院医学系研究科小児科 | 当科で経験した脊髄性筋萎縮症 6 症例の治療法の選択と有効性の検討 |
| O32-05 | 山下朋代 | 大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学 | 脊髄性筋萎縮症 3 型に対するヌシネルセンの効果 —BIA 法を用いて— |
| O32-06 | 七字美延 | 東京女子医科大学病院小児科 | 患者情報登録データを用いた先天性筋強直性ジストロフィー患者の合併症の解析 |

一般演題 (口演) 33: 神経筋疾患 4

6月1日 (土) 9:40~10:40 第9会場

座長 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)
成田 綾 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)

| | | | |
|--------|-------|-------------------------|---------------------------------------------------------|
| O33-01 | 石黒久美子 | 東京女子医科大学小児科 | 福山型先天性筋ジストロフィー (FCMD) の生体電気インピーダンス (BIA) を用いた上肢機能に関する検討 |
| O33-02 | 杉山 諒 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | 福山型先天性筋ジストロフィーにおける Holter 心電図所見の分析 |
| O33-03 | 池田 妙 | 北九州市立八幡病院小児神経内科 | Electroneurography による小児の末梢性顔面神経麻痺の予後予測 |
| O33-04 | 八木麻理子 | 甲南女子大学人間科学部総合子ども学科 | Duchenne 型筋ジストロフィー患者および保護者を対象とした「病気の説明」に関するアンケート調査 |
| O33-05 | 松岡剛司 | 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター | 病態として静脈性灌流障害が疑われた Surfer's myelopathy の一例 |
| O33-06 | 平田 航 | 東京都立神経病院神経小児科 | 走行障害を主訴とした Brody 病の 1 例 |

一般演題（口演）34：脳外科領域

6月1日（土）10:50～11:40 第9会場

座長 埜中正博（関西医科大学脳神経外科）

井原 哲（東京都立小児総合医療センター脳神経外科）

| | | | |
|--------|-------|---------------------|----------------------------------------------------------------|
| O34-01 | 入江紗瑛子 | 国立成育医療研究センター神経内科 | もやもや病は4.2%で頭蓋内石灰化を合併しうる：連続119例の検討 |
| O34-02 | 大多尾早紀 | 長野県立こども病院神経小児科 | 入浴を誘因とした可逆性脳血管攣縮症候群が原因と推定された溺水の小児例 |
| O34-03 | 石岡梨紗子 | 大阪市立総合医療センター小児言語科 | 小児期発症の動脈性虚血性脳卒中における急性症候性発作、およびてんかんに関する検討 |
| O34-04 | 鈴木雄一 | 福島県立医科大学小児科 | 後天性脳障害後に paroxysmal sympathetic hyperactivity を呈した超重症心身障がい児の3例 |
| O34-05 | 田上幸治 | 神奈川県立こども医療センター総合診療科 | 当センターでの虐待による乳幼児の頭部外傷症例の長期予後と受傷機転の説明 |

フリーディスカッション 1 5月30日(木) 17:30~19:00

一般演題(ポスター) 1: 遺伝・先天異常

| | | | |
|--------|-------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| P1-001 | 小林朋子 | 東北大学東北メディカル・メガバンク機構小児発達学分野 | 全ゲノム解析研究のためのインフォームド・アセント補助資料:「モノクログゲノム」開発 |
| P1-002 | 糸見和也 | あいち小児保健医療総合センター神経内科 | 両親の代理意思決定によるアドバンス・ケア・プランニングを開始した重症型先天性ヒアリン線維種症の1例 |
| P1-003 | 萩原 翔 | 千葉大学医学部附属病院小児科 | Rett 症候群における高深度プロテオーム解析による新規バイオマーカーの検索 |
| P1-004 | 大滝里美 | 埼玉医科大学病院小児科 | 遺伝子変異が判明した乳児期発症けいれん 5 例の検討 |
| P1-005 | 野村俊介 | 富山大学附属病院周産母子センター | 近位関節の拘縮で発症した Malan 症候群 |
| P1-006 | 川嶋有朋 | 宮城県立こども病院神経科 | CACNA1A 遺伝子異常による先天性失調症 4 症例の臨床的検討と急性脳症様エピソード |
| P1-007 | 花岡義行 | 倉敷中央病院小児科 | 先天性ネフローゼや進行性の脳石灰化を呈する SCN8A 遺伝子異常の男児例 |
| P1-008 | 根岸 豊 | 名古屋市立大学大学院医学研究科小児科 | Schaaf-Yang 症候群の自然歴に基づく管理指針作成 |
| P1-009 | 下村里奈 | 東京女子医科大学小児科 | PLP1 の 3 重複を来した DUP-TRP/INV-DUP の構造解析 |
| P1-010 | 林 泰壽 | 浜松医科大学小児科 | 発達遅滞と血管周囲腔の拡大を呈し、OCD1 遺伝子および GRIN2B 遺伝子に変異を認めた 1 例 |
| P1-011 | 山本達也 | 弘前大学医学部小児科 | WDR26 変異による Skraban-Deardorff 症候群の 1 例 |
| P1-012 | 漆畑 侑 | 浜松医科大学小児科 | 発熱を契機に小脳失調、筋緊張低下を伴う急性脳症を反復した ATP1A3 関連疾患の 1 例 |
| P1-013 | 安斎 亘 | 昭和大学病院小児科 | pseudo-TORCH 症候群と診断されていたが 19 歳時に COL4A1 新規変異が同定された裂脳症の 1 例 |
| P1-014 | 里 龍晴 | 長崎大学病院小児科 | 皮膚組織を用いた遺伝子解析が診断に有用であった Megalencephaly capillary malformation syndrome (MCAP) の 1 例 |
| P1-015 | 城賀本敏宏 | 愛媛大学医学部附属病院小児科 | オスラー病の遺伝子変異を有したコルネリアアデランゲ症候群の 1 例 |
| P1-016 | 岩山秀之 | 愛知医科大学医学部小児科 | 成長ホルモン補充療法中に眼瞼下垂が出現した慢性進行性外眼筋麻痺症候群の 1 例 |
| P1-017 | 山下大輔 | 久留米大学医学部小児科学講座 | 副腎白質ジストロフィー患児の病状変化とプラズマローゲンの推移に関する検討 |
| P1-018 | 短田浩一 | 京都第一赤十字病院小児科 | Tubulin folding Co-factor D (TBCD) 遺伝子変異によると考えられた早期発症神経変性脳症の一例 |
| P1-019 | 宇田大祐 | 市立福知山市民病院小児科 | 2 歳で喉頭気管分離術と胃瘻造設術を一期的に実施した Tay-Sachs 病の 1 例 |
| P1-020 | 永井康平 | 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科 | 内頸静脈拡張内に巨大血栓を認めた Menkes 病の 1 例 |
| P1-021 | 齋藤千尋 | 千葉大学医学部附属病院小児科 | 軽微な小脳失調症状と小脳萎縮を呈し脊髄小脳変性症 8 型と考えられた一例 |
| P1-022 | 原口康平 | 長崎大学病院小児科 | トリオ全エクソーム解析を契機に診断した 1p36 微小欠失を伴う Xia Gibbs 症候群の 1 例 |
| P1-023 | 大越優美 | 都立府中療育センター小児科 | UBTF 遺伝子変異に関連した小児神経変性症と診断した重症心身障害者の 1 例 |
| P1-024 | 放上萌美 | 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科 | 新生児期発症ミオクロームスを呈した H3F3A 関連神経発達異常症の 1 例 |
| P1-025 | 吉野彰兼 | 静岡済生会総合病院小児科 | 哺乳不良と筋緊張低下を示し、生後 2 カ月に診断した Temple 症候群の男児例 |
| P1-026 | 山本櫻子 | 東京都立神経病院神経小児科 | 下位運動ニューロン障害を主徴とした SNAPC4 遺伝子変異の 1 例 |

一般演題 (ポスター) 1: 遺伝・先天異常 つづき

| | | | |
|--------|-------|------------------------|---------------------------------------------------------|
| P1-027 | 細川洋輔 | 愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科 | SACS 遺伝子と MED13L 遺伝子にバリエントを認めた自閉症, 軽度知的障害, 痙性対麻痺の 1 例 |
| P1-028 | 岡野聡美 | 札幌徳洲会病院小児科 | Angelman 症候群に合併するジストニアの検討 |
| P1-029 | 實藤雅文 | 佐賀大学医学部小児科 | 本邦における神経線維腫症 1 型の叢状神経線維腫に関する全国調査 |
| P1-030 | 大友智史 | 東海大学医学部付属八王子病院小児科 | 神経線維腫症 1 型 (NF1) に皮下型サルコイドーシスを合併した 1 例 |
| P1-031 | 古島わかな | 東京都立府中療育センター小児科 | 大腸癌を合併した結節性硬化症の 28 歳男性の 1 例 |
| P1-032 | 山田 慧 | 国立病院機構西新潟中央病院 | KRAS 体細胞バリエントを同定した線状脂腺母斑症候群の 3 例 |
| P1-033 | 下田木の実 | 東京大学医学部附属病院小児科 | コエンザイム Q10 投与後に乳児期の発達が促進された Prader-Willi syndrome の 1 例 |
| P1-034 | 柴 直子 | 信州大学医学部小児科 | 診断に苦慮した Sjogren-Larsson 症候群の兄弟例 |
| P1-035 | 安永由紀恵 | 小倉医療センター小児科 | 経口ワクチン接種により驚愕反応を引き起こした驚愕病の 1 例 |
| P1-036 | 沢石由記夫 | 秋田県立医療療育センター | 秋田県においてダウン症の出生率は 20 年間で倍増している |
| P1-037 | 高橋美智 | 島田療育センター小児科 | 13trisomy の長期生存例の 1 例 |
| P1-038 | 中村知美 | 三重大学医学部附属病院小児科 | 全ゲノム解析で低頻度トリソミー 8 モザイクが疑われ, FISH 法によりに確定診断に至った 1 例 |
| P1-039 | 樋口直弥 | 佐賀大学医学部附属病院小児科 | アレイ CGH で MECP2 重複症候群と診断し遺伝カウンセリングを必要とした一例 |
| P1-040 | 宮奈 香 | 日本赤十字社医療センター小児科 | 思春期早発徴候を認めた MECP2 重複症候群の 1 男児例 |
| P1-041 | 下村育史 | 鹿児島大学小児科 | マイクロアレイ染色体検査で MBD5 重複を認めた自閉スペクトラム症と知的障害の 1 例 |
| P1-042 | 馬場悠生 | 独立行政法人国立病院機構南九州病院小児科 | 小頭症, 知的障害, 自閉スペクトラム症を伴った 16p13.11 微小欠失症候群の 1 例 |
| P1-043 | 木許恭宏 | 宮崎大学医学部小児科 | Basilicata-Akhtar 症候群に類似した表現型を示す Xp22.2 重複の男児例 |
| P1-044 | 新保裕子 | 東京都医学総合研究所脳代謝制御 | RP58/ZBTB18 ハプロ不全モデルマウスを用いた発達障害の病態解明および遺伝子治療の可能性 |

一般演題 (ポスター) 2: 自律神経・頭痛

| | | | |
|--------|------|----------------|---------------------------------------|
| P2-045 | 東 純史 | 箕面市立病院小児科 | 遺伝子検査を施行した小児四肢疼痛発作症 6 例の検討 |
| P2-046 | 森宗孝夫 | 滋賀医科大学小児科 | 同側後縦隔神経芽腫による症候性 Harlequin 症候群の 1 例 |
| P2-047 | 小俣優子 | 誠馨会千葉メディカルセンター | 小児の片頭痛治療におけるスマトリプタンの有効性および有害事象についての検討 |

一般演題 (ポスター) 3: 発達・神経発達症

| | | | |
|--------|------|----------------|------------------------------------|
| P3-048 | 小林 修 | 大分大学医学部小児科 | 集団 4 か月健診での自発運動評価実施の問題点の検討 |
| P3-049 | 竹下暁子 | 東京女子医科大学小児科 | 極低出生体重児の就学以降の診療状況の実際と問題点 |
| P3-050 | 中嶋英子 | 稲荷山医療福祉センター小児科 | 乳児・早期幼児期における回避・制限性食物摂取症と考えられた 6 症例 |

一般演題 (ポスター) 3: 発達・神経発達症 つづき

| | | | |
|--------|-------|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| P3-051 | 早川 格 | 国立成育医療研究センター神経内科 | スポットビジョンスクリーナー®時代の乳幼児健診で発見された無症候性瞳孔不同に対する精査状況の考察 |
| P3-052 | 坂本知子 | 秋田県立医療療育センター小児科 | 当センターのダウン症児の歩行獲得月齢に関する検討 |
| P3-053 | 寺崎英佑 | 滋賀県立小児保健医療センター小児科 | 医療的ケア児者の大学進学に関する患者交流会 一当院の取り組み |
| P3-054 | 北住映二 | 心身障害児総合医療療育センター小児科 | 学校での気管カニューレ事故抜去時のカニューレ再挿入方法等, 東京都立特別支援学校看護師への実技研修-5年間の実施経過と意義 |
| P3-055 | 大和田啓峰 | 東京都立北療育医療センター城南分園小児精神科 | 当センターの外来通院中にグループホームや支援施設へ入居した自閉症 11 例における背景と家族の意思決定要因の検討 |
| P3-056 | 松井美華 | 熊本県こども総合療育センター | 熊本県こども総合療育センター外来における神経発達症への親子相互交流療法 (Parent-Child Interaction Therapy : PCIT) の取り組み |
| P3-057 | 本田真美 | 医療社団法人のびたみくりキッズくりにつく | 自閉スペクトラム症児に対する客観的指標と保護者/教師の認識の差異に関する検討 |
| P3-058 | 小坂拓也 | 福井大学医学部小児科 | 地域中心の発達支援体制構築のために開催した支援者研修会の報告 |
| P3-059 | 高柳 亮 | 大阪大学大学院連合小児発達学研究所 | メディア使用が与える睡眠習慣・社会性発達への影響 |
| P3-060 | 井上大嗣 | 長崎県立こども医療福祉センター | 自閉スペクトラム症の併存する選択性緘黙の児に対して療育的アプローチによる治療を実施した 3 例 |
| P3-061 | 太田秀紀 | 西宮市立こども未来センター診療所小児科 | 神経発達症診療における成人期移行支援の現状と課題 |
| P3-062 | 足立美穂 | 岐阜大学医学部附属病院小児科 | 発達特性のある大学新入学生の頻度と精神的健康度についての横断的研究 |
| P3-063 | 宇野里砂 | 豊中市立児童発達支援センター小児科 | 豊中市の乳幼児早期の発達遅滞・発達障害児・発達障害リスク児への日常生活支援の取り組み (第 3 報) |
| P3-064 | 城間直秀 | 発達神経クリニックグループ | 放課後等デイサービスに対する医師の捉え方について (放課後等デイサービスのあり方に対する予備調査) |
| P3-065 | 居相有紀 | 大阪医科薬科大学病院小児科 | 読字障害のない読解障害症例における KABC-II および LCSA の評価点についての検討 |
| P3-066 | 居相有紀 | 大阪医科薬科大学病院小児科 | 読字障害のない読解障害の背景因子についての検討 |
| P3-067 | 栗原亜紀 | 都立府中療育センター小児科 | 地域中核療育センターでの特異的読字障害診療 第 1 報 |
| P3-068 | 矢野珠巨 | 秋田県立医療療育センター | 父から母子を分離することにより, 摂食障害が劇的に改善した乳児例 |
| P3-069 | 後藤史子 | 慶應義塾大学医学部小児科 | 母親の食事制限は, 脳形成異常を通じて思春期の子供に不安を引き起こす |
| P3-070 | 中島陽大 | 大阪大学大学院連合小児発達学研究所 | 小児科発達外来における, Cognitive Disengagement Syndrome の割合, および関連因子の探索的調査 |
| P3-071 | 山下未央 | 長崎県立こども医療福祉センター | MPH と ATX の併用から LDX 単剤への変更で夕方以降の行動が改善した 3 例 |
| P3-072 | 白井育子 | 島田療育センターはちおうじ神経小児科 | 場面緘黙症状を呈する 58 例の検討 |
| P3-073 | 松本貴子 | 市立芦屋病院 | ADHD 薬治療中に PARS-TR スコアが低下した ASD/ADHD 4 症例 |
| P3-074 | 鈴木真嘉 | 公立相馬総合病院 | 神経発達症を疑われて当院を初診した幼児期の 47 例 |
| P3-075 | 森 こずえ | 宮崎大学医学部小児科 | 地域特性に応じた小児期神経発達症診療の体制構築 |
| P3-076 | 糸山 綾 | 山梨大学医学部小児科 | 地域住民の神経発達症リテラシーの現状と課題 |
| P3-077 | 鈴木菜生 | 旭川医科大学小児科 | 神経発達症患者本人への診断名告知に関する検討 |
| P3-078 | 本島敏乃 | 本島総合病院小児科 | 神経発達症児の感覚情報処理の偏りがことばの遅れと発達特性に及ぼす影響について |

一般演題 (ポスター) 3: 発達・神経発達症 つづき

| | | | |
|--------|-------|----------------------|----------------------------------------------------------|
| P3-079 | 川合裕規 | 岐阜県立希望が丘子ども医療福祉センター | 岐阜圏域における小児科発達障がい専門外来の状況調査～初診待機期間解消に向けた検討 |
| P3-080 | 勝盛 宏 | 河北総合病院小児科 | WISC-IV 言語理解指標 VCI130 以上の児童に関する医療相談について |
| P3-081 | 濱谷沙世 | 福井大学子どものこころの発達研究センター | 摂食障害自助グループのシステマティックレビューと実態調査による、当事者と家族が容易にアクセス可能な支援体制の構築 |
| P3-082 | 後藤康平 | 久留米大学医学部小児科学講座 | 当院の現状から考えるトランジションの課題 |
| P3-083 | 吉田 登 | 順天堂大学練馬病院小児科 | 東京都区部の単一施設における移行医療の実態 |
| P3-084 | 篠崎敏行 | 日本海総合病院小児科 | 山形県庄内地域における短期入所事業の実態調査 |
| P3-085 | 江藤昌平 | 滋賀県立小児保健医療センター | 在宅人工呼吸療法中に発症した腸管気腫症の検討 |
| P3-086 | 鈴木ことこ | 東京都立北療育医療センター小児科 | 重症心身障害児・者の心肺停止についての検討 |

一般演題 (ポスター) 4: 新生児・周産期

| | | | |
|--------|------|--------------------|--------------------------------------------------------|
| P4-087 | 三橋隆行 | 慶應義塾大学医学部小児科 | Poly (I:C) による母体免疫活性化は神経幹/前駆細胞の分裂動態の異常を介して大脳皮質形成異常を生じる |
| P4-088 | 緒方怜奈 | 国立病院機構小倉医療センター小児科 | 当院における低出生体重児の身体発育と神経発達予後との関連 |
| P4-089 | 高橋章仁 | 倉敷中央病院小児科 | 早産児の就学前小児療育の経験は予後改善に繋がるのか? |
| P4-090 | 前田夢吉 | 福井大学小児科 | 在胎週数22週超早産児5例の新生児期経過と就学後の発達状況との関連 |
| P4-091 | 瑞木 匡 | 京都府立医科大学小児科 | trans systolic time から新生児の脳灌流圧を予測する |
| P4-092 | 立石裕一 | 広島大学病院小児科 | 新生児発作が疑われる児への対応 ―当院における 25 例の検討― |
| P4-093 | 重田英臣 | 産業医科大学病院小児科 | エスシタロプラムによる新生児薬物離脱症候群を発症した 2 例 |
| P4-094 | 守山汐理 | 東京都立小児総合医療センター神経内科 | Lidocaine と Lacosamide で良好な発作コントロールを得た新生児発症てんかんの一例 |

一般演題 (ポスター) 5: 急性脳炎・脳症

| | | | |
|--------|------|-------------------|----------------------------------------------|
| P5-095 | 竹元将人 | 済生会川内病院小児科 | ジアゼパム坐剤投与後のふらつきと鑑別を要した急性散在性脳脊髄炎の 1 歳男児 |
| P5-096 | 神内 済 | 香川大学医学部小児科 | 中枢神経系炎症性脱髄疾患を反復する潰瘍性大腸炎の 15 才女子例 |
| P5-097 | 濱田朋弥 | 高知県立幡多けんみん病院小児科 | 歩行障害を主訴に受診しリウマチ熱の診断に至った 1 例 |
| P5-098 | 大場温子 | 東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科 | TRH の内服治療と静注免疫グロブリン療法の併用療法が有効な慢性小脳失調症の 1 例 |
| P5-099 | 藤井史彦 | 九州大学病院小児科 | 亜急性硬化性全脳炎モデル・脳オルガノイドの樹立 |
| P5-100 | 松村美咲 | 聖隷三方原病院小児科 | 異なる発症様式を呈した抗 MOG 抗体関連疾患 (MOGAD) の 2 症例 |
| P5-101 | 赤峰 哲 | 福岡市立子ども病院小児神経科 | 初発時に抗 MOG 抗体が陽性だった再発性有痛性眼筋麻痺性ニューロパチーの 7 歳女児例 |
| P5-102 | 北村太郎 | 仙台市立病院小児科 | 急性散在性脳脊髄炎における抗 MOG 抗体陽性例と陰性例の比較 |

一般演題（ポスター）5：急性脳炎・脳症 つづき

| | | | |
|--------|-------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| P5-103 | 野寺真樹 | 福島県立医科大学小児科 | MOG 抗体関連疾患治療後の経過観察中に抗 NMDA 受容体脳炎を発症した 1 例 |
| P5-104 | 馬場裕太 | 唐津赤十字病院 | HHV-6 脳炎との鑑別に苦慮した MOGAD (myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-associated disease) |
| P5-105 | 増田景子 | 大分県立病院小児科 | 急性尿閉で発症した抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体関連疾患の一例 |
| P5-106 | 津田祐子 | 和歌山県立医科大学小児科 | 側弯症矯正固定術の既往があり再発を繰り返す MOG 抗体関連疾患の 1 例 |
| P5-107 | 上野雄司 | 福岡市立こども病院小児神経科 | 重症脊髄炎を呈した MOG 抗体関連疾患の一例 |
| P5-108 | 松本 浩 | 防衛医科大学校病院小児科 | MOG 抗体関連疾患 (MOGAD) 4 例の経過 |
| P5-109 | 丸金拓藏 | 高知大学医学部附属病院小児科 | 診断に難渋した脳膿瘍の 2 例 |
| P5-110 | 林 貴大 | 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院小児科 | 可逆性脳梁膨大部病変を伴った硬膜下膿瘍の一例 |
| P5-111 | 石垣英俊 | 浜松医科大学小児科 | エンテロウイルス D68 関連急性弛緩性脊髄炎の管理：急性期の免疫グロブリンの静脈内投与と慢性期の神経移植を行った 2 例 |
| P5-112 | 一宮優子 | 福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野 | 急性弛緩性脊髄炎の神経学的予後 |
| P5-113 | 出納達也 | 昭和大学病院小児科 | 脳脊髄液中ヒトパレコウイルスが陽性であったが中枢神経症状なく軽症であった 2 症例 |
| P5-114 | 田中 司 | 兵庫県立はりま姫路総合医療センター小児科 | 機能的神経学的症状と診断された 3 例で認めた類似する脳血流異常と髄液サイトカイン所見 |
| P5-115 | 石川達大 | 地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院小児科 | 血漿交換を施行せず Rituximab を投与した免疫介在性脳炎の小児例 |
| P5-116 | 高橋達也 | 国立成育医療研究センター神経内科 | 多発性硬化症低年齢小児例に対するフマル酸ジメチルの投与経験 |
| P5-117 | 柿本 優 | 東京大学医学部附属病院小児科 | 当科で経験した先天性サイトメガロウイルス感染症児の発症予後 |
| P5-118 | 森 貴幸 | 東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野 | TLR3/7 刺激がピロカルピン誘導けいれんモデルマウスのけいれんを増悪させる |
| P5-119 | 那須野 将 | 長野県立こども病院神経小児科 | 急性脳炎・髄膜炎患者における髄液中マクロファージ遊走阻止因子の検討 |
| P5-120 | 吉川遥菜 | 慶應義塾大学医学部小児科 | 多重遺伝子診断は急性脳症の発症リスクを高めるか：出血性ショック脳症症候群を呈した二重遺伝子疾患の小児例 |
| P5-121 | 大栗聖由 | 香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科 | 機械学習を用いた急性期脳波の power spectrum map による AESD の診断 |
| P5-122 | 杉立 玲 | 前橋赤十字病院小児科 | 発症初期と二相目で発作焦点側方が移動し、MRI で特徴的な血流信号変化を伴った、COVID-19 による AESD の一例 |
| P5-123 | 南澤有紀 | 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター | けいれん重積型（二相性）急性脳症に対する thyrotropin-releasing hormone 療法の有効性に関する検討 |
| P5-124 | 小俣 卓 | 東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科 | AESD に対するミトコンドリアカクテル薬の有効性と今後の課題を含めた報告 |
| P5-125 | 所谷知穂 | 高知医療センター小児科 | けいれん重積型急性脳症 20 例の臨床的検討 |
| P5-126 | 濱田詩織 | 社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院小児科 | けいれん性てんかん重積状態を伴わない急性脳症を呈した Dravet 症候群の一例 |
| P5-127 | 川口達也 | 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科 | てんかん重積状態の長期予後に関する鳥取県における全数調査 |
| P5-128 | 森内優子 | イムス富士見総合病院小児科 | COVID-19 感染に伴う急性脳症の 2 例 |
| P5-129 | 徳間紀大 | 東京都立豊島病院小児科 | 可逆性の脳梁膨大部病変を伴う軽症脳症・脳炎 (MERS) に急性虫垂炎を合併した男子の 1 例 |

一般演題 (ポスター) 6: 神経生理

| | | | |
|--------|-------|-----------------|------------------------------------------------|
| P6-130 | 石川珠代 | 近江八幡市立総合医療センター | 当院における救命救急外来で使用した amplitude-integrated EEG の検討 |
| P6-131 | 大吉由希美 | 東京都立府中療育センター小児科 | 重症心身障害児者における aEEG の有用性 |
| P6-132 | 森山 薫 | 長崎県立こども医療福祉センター | 小児患者に対する長時間ビデオ脳波モニタリング検査における皮膚障害の予防 |
| P6-133 | 榊原崇文 | 奈良県立医科大学小児科 | 迷走神経刺激は睡眠中の呼吸数を変化させる |

一般演題 (ポスター) 7: 脳性麻痺

| | | | |
|--------|-------|------------------------|------------------------------------------------------------------|
| P7-134 | 吉野 豪 | 鳥取大学医学部付属病院脳神経小児科 | Paroxysmal sympathetic hyperactivity に対してガバペンチンを投与した重症心身障害児 3 症例 |
| P7-135 | 和田真子 | あいち小児保健医療総合センター神経内科 | バクロフェン髄注療法における pulsatile bolus infusion を施行した 3 例の検討 |
| P7-136 | 上月愛瑠 | にこにこハウス医療福祉センター | 重度痙縮に髄腔内バクロフェン投与療法が奏効し 7 か月間の入院治療後に在宅移行が可能となった 19 歳症例 |
| P7-137 | 丸山幸一 | 愛知県医療療育総合センター中央病院小児神経科 | 他施設小児科から当施設への重症心身障害者の移行期医療に関する実態調査 |
| P7-138 | 鈴木輝彦 | 浜松市発達医療総合福祉センター小児科 | 在宅医療ケア児者の在宅療養支援診療所とのトランジションに向けた協働 |
| P7-139 | 豊野美幸 | 秋田県立医療療育センター小児科 | 成人期を迎えた脳性麻痺者の生活状況と社会参加について |
| P7-140 | 高田 献 | 山梨県立中央病院小児科 | 当院における医療的ケア導入に関連する手術症例の経年変化 |
| P7-141 | 西村美緒 | 神戸医療福祉センターにこにこハウス | 誤嚥性肺炎発症を契機に状態が悪化し剖検にて悪性リンパ腫と診断できた 6 番環状染色体症の 1 例 |
| P7-142 | 井坂雅子 | サポートハウスココロネ住吉 | 当施設における側弯症例とその関連因子について |
| P7-143 | 中村由紀子 | 島田療育センター小児科 | 外来における重症心身障害児者の摂食嚥下造影検査の評価 |
| P7-144 | 廣瀬千穂 | 独立行政法人国立病院機構福島病院小児科 | 重症心身障害児 (者) における胃瘻造設後の長期合併症の検討 |
| P7-145 | 川口理紗 | 千葉県こども病院神経内科 | COVID-19 感染後に喉頭気管分離を要した重症心身障害児・者の 3 例 |
| P7-146 | 楠本将人 | 滋賀県立小児保健医療センター | 内科的治療が奏功した上腸間膜動脈症候群の検討 |
| P7-147 | 大瀧 潮 | 青森県立中央病院成育科 | 機能維持を目的に選択的脊髄後根切断術を受けた 4 例の臨床像の後方視的検討 |

フリーディスカッション2 5月31日(金) 17:30~19:00

一般演題(ポスター) 8: てんかん

| | | | |
|--------|-------|-------------------------|---------------------------------------------------------------|
| P8-001 | 坂本絵理 | 順天堂大学小児科 | MPLA 法で微細欠失部位を確定したドラベ症候群の1例 |
| P8-002 | 寺嶋 宙 | 東京大学医学部附属病院小児科 | 成人期に Dravet 症候群と診断された2症例 |
| P8-003 | 高見 遥 | 東京慈恵会医科大学小児科 | 新生児期の発作抑制に LCM が有効であったモリブデン補酵素欠損症の1例 |
| P8-004 | 三好柚香 | 大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学 | 乳児てんかん性スパズム症候群を発症した MED13 遺伝子変異の乳児例 |
| P8-005 | 古川智偉 | 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院小児科 | 乳児てんかん性スパズム症候群を発症したアデニロコハク酸リアーゼ欠損症の1例 |
| P8-006 | 寺西宏美 | 埼玉医科大学病院小児科 | IESS (乳児てんかん性スパズム症候群) を呈した Triple X syndrome の1例 |
| P8-007 | 宇根岡紗希 | 東北大学病院小児科 | CACNA1D 遺伝子バリエーションを同定した難治てんかんの1例 |
| P8-008 | 堅田有宇 | 宮城県立こども病院神経科 | X染色体の不活化の強い偏りにより、既報よりも重症な DEE-SWAS をきたした CNKSR2 遺伝子異常の女児例 |
| P8-009 | 大久保幸宗 | 八戸市立市民病院小児科 | 多小脳回と難治性てんかんを発症した PLCB4 遺伝子変異による耳介顎骨症候群2型 (ARCND2) |
| P8-010 | 利川寛実 | 滋賀県立小児保健医療センター小児科 | 睡眠時持続性棘徐波を示すてんかん性脳症を疑った CHD2 関連てんかんの1例 |
| P8-011 | 渋谷守栄 | 東北大学病院小児科 | 神経セロイドリポフスチン症2型 (CLN2) との鑑別を有した発達性てんかん性脳症 91 型 (DEE91) の1例 |
| P8-012 | 前田謙一 | 宮崎大学医学部小児科 | 脳室周囲結節状異所性灰白質を認めた SCN2A 異常症による早期乳児発達性てんかん性脳症の1例 |
| P8-013 | 関 衛順 | 国立病院機構西新潟中央病院小児科 | 音声チックと鑑別を要した小児てんかん2例 |
| P8-014 | 舞鶴賀奈子 | 天理よろづ相談所病院小児科 | VAMP2 遺伝子変異による発作性エピソードに対してレベチラセタムが有効であった1例 |
| P8-015 | 山本直寛 | 奈良県総合医療センター小児科 | PLA2G6 関連神経変性症の臨床・脳波学的変化 |
| P8-016 | 内田智子 | 千葉大学大学院医学研究院小児病態学 | 未診断疾患イニシアチブにて診断した新規 SAMHD1 変異を有する Aicardi-Goutieres 症候群5型の女児例 |
| P8-017 | 黒岩ルビー | ドラベ症候群患者家族会 | ドラベ症候群におけるフェンフルラミン製剤の服薬状況と効果についての実態調査 |
| P8-018 | 藤本 遼 | 千葉県こども病院神経内科 | Dravet 症候群に対してフェンフルラミンで治療を行った1例 |
| P8-019 | 植月元一 | 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター | 治療抵抗性の Dravet 症候群に対しフェンフルラミンが奏効した1例 |
| P8-020 | 松尾光弘 | 長崎県立こども医療福祉センター | フェンフルラミン追加投与により、顕著な食欲低下を認めたが、著効した Dravet 症候群の1例 |
| P8-021 | 米衛ちひろ | 南九州病院小児科 | 骨粗鬆症に対するビタミンD投与開始後にてんかん発作の頻度が減少した Dravet 症候群の1例 |
| P8-022 | 梅田真洋 | 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科 | 乳児てんかん性スパズム症候群における治療寛解後の Based score とてんかん性スパズムの発作予後との関係性の検討 |
| P8-023 | 岡本健太郎 | 愛媛県立今治病院小児科 | BCG ワクチンの接種から2週間以内に ACTH 療法を施行した潜因性ウエスト症候群の2例 |
| P8-024 | 落合 悟 | 帝京大学小児科 | Weekly ACTH療法により良好な発作コントロールと発達の促進を認める GBS 髄膜炎後 West 症候群の1例 |
| P8-025 | 堀口明由美 | 自治医科大学附属病院とちぎ子ども医療センター | 学童期に非定型欠神重積を繰り返しケトン食が有効であった ALG13 関連-発達性てんかん性脳症の1例 |
| P8-026 | 五十嵐鮎子 | 順天堂大学小児科 | 国内診療報酬データベースを用いた新規抗てんかん薬の処方数の経時的変化 |

一般演題 (ポスター) 8: てんかん つづき

| | | | |
|--------|-------|-------------------------|--------------------------------------------------------------|
| P8-027 | 佐藤真由香 | 信州大学医学部小児医学教室 | クレアチントランスポーター欠損症女性例の治療経験 |
| P8-028 | 石井雅宏 | 北九州総合病院小児科 | 新規抗てんかん薬導入前後での二次病院における初回抗てんかん薬不応例の比較 |
| P8-029 | 高市留奈 | 東京北医療センター | 当院における抗てんかん薬選択の変化 |
| P8-030 | 榎 日出夫 | 聖隷浜松病院てんかんセンター | 思春期発症の特発性全般てんかんにおける perampanel の有効性と安全性 |
| P8-031 | 金村英秋 | 東邦大学医療センター佐倉病院小児科 | てんかん患者におけるベランパネル一次単剤療法に関する観察研究 (PORTABLE Study) の 12 ヶ月時中間報告 |
| P8-032 | 小沼淳一 | アキュリスファーマ株式会社研究開発本部 | 日本人健康成人におけるジアゼパム点鼻液の第 1 相, 無作為化, 非盲検, 3 期クロスオーバー試験 |
| P8-033 | 今泉太一 | 川崎市立多摩病院小児科 | バルプロ酸とピラセタムの組み合わせがミオクローヌスに有効であった Unverricht-Lundborg 病の 1 例 |
| P8-034 | 石井隆大 | 久留米大学医学部医学科小児科学講座 | ベランパネル増量により症状緩和がした Landau Kleffner 症候群の 1 例 |
| P8-035 | 岸 高正 | 荒木脳神経外科病院小児科 | エトサクシミドによると思われる伝染性紅斑様の皮疹を呈した小児欠神てんかんの 1 例 |
| P8-036 | 中澤美賀 | 賛育会病院小児科 | ラコサミド投与により意識変容と脳波の徐波化を認めた 1 例 |
| P8-037 | 渡邊由祐 | 東京医科大学小児科・思春期科学分野 | ラコサミドが有効であった自然終息性乳児てんかんの 2 例 |
| P8-038 | 雨宮 馨 | さいわいこどもクリニック在宅診療部 | 抗てんかん薬の選択が症状緩和につながった脳腫瘍の一例 |
| P8-039 | 井口晃宏 | NHO 静岡てんかん・神経医療センター | ラコサミド中止により劇的な覚醒時脳波改善を認めた 8 歳男児例 |
| P8-040 | 藤井朋洋 | 十愛療育会横浜医療福祉センター港南神経小児科 | 全ての抗てんかん薬を中止し得た重症心身障害者 2 例 |
| P8-041 | 池田 梓 | 神奈川県立こども医療センター神経内科 | 低用量 ACTH 療法に伴う日和見感染症の 2 例: レジオネラ肺炎とニューモシスチスカリニ肺炎 |
| P8-042 | 阿久津 晃 | 獨協医科大学小児科学 | 低用量 ACTH 療法を契機に蛋白漏出性胃腸症を呈した West 症候群の乳児 |
| P8-043 | 吉永治美 | 国立病院機構南岡山医療センター小児神経科 | メチルフェニデートによるてんかん発作と脳波異常出現が考えられた一例 |
| P8-044 | 元木崇裕 | 愛媛大学医学部小児科 | 小児欠神てんかんと中心側頭部棘波を示す自然終息性てんかんの両方の特徴を持つ 4 例の検討 |
| P8-045 | 齋藤貴志 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | 小児てんかんの患者に対して併用される向精神薬の処方状況 |
| P8-046 | 古川 源 | 藤田医科大学医学部小児科学 | 熱性けいれんにおける脳鉄動態に関する生化学的検討 |
| P8-047 | 藤井仁美 | 国立病院機構西新潟中央病院 | 当科における小児欠神てんかん症例の長期予後の検討 |
| P8-048 | 田丸 径 | 山梨大学医学部小児科 | 非定型中心側頭部棘波を示す小児てんかん児の睡眠紡錘波の経時変化 |
| P8-049 | 伊藤昌弘 | 都立府中療育センター | 重症心身障害児者施設における 30 年間でのてんかん患者の動向 |
| P8-050 | 小池敬義 | 久留米大学医学部小児科 | 当院における乳児てんかん性スパズム症候群の発達予後と支援状況 |
| P8-051 | 岡崎 伸 | 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科 | 本邦における自宅・学校等の医療機関外におけるてんかん発作への対応の実態調査 |
| P8-052 | 岡崎 伸 | 大阪市立総合医療センター小児脳神経内科 | てんかん患者および介護者の QOL に与える影響: 小児てんかん患者の介護者を対象としたアンケート調査 |
| P8-053 | 中川裕康 | 浅ノ川総合病院小児科 | 医療的ケア指導アドバイザー巡回事業におけるてんかん指導 |

一般演題 (ポスター) 8 : てんかん つづき

| | | | |
|--------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| P8-054 | 瓶子昌幸 | 一般社団法人 SACHi プロジェクト | 難治てんかん患者保護者の日常生活に関するインタビュー調査 — テキストマイニング分析を通して — |
| P8-055 | 山田博之 | 公立豊岡病院組合立豊岡病院小児科 | 思春期てんかん患者の疾患認識に関するアンケート調査 |
| P8-056 | 林田拓也 | 長崎県立こども医療福祉センター小児科 | てんかん外科術後における親子入院の取り組み |
| P8-057 | Fumikazu Sano | Department of Neuropharmacology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan | Astrocyte-mediated synaptogenesis triggers epileptogenesis after status epilepticus |
| P8-058 | Hiroki Hoshino | Department of Neuropharmacology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan | Connexin inhibitors acting on early reactive microglia prevent the epileptogenic astrocytes |

一般演題 (ポスター) 9 : 画像

| | | | |
|--------|------|----------------|-------------------------------------------------------|
| P9-059 | 黒田文人 | 金沢大学小児科 | ADEM の経過中に bright tree appearance を認めた 2 歳男児 |
| P9-060 | 阪田健祐 | 聖マリア病院小児科 | 当院で頭蓋内出血に伴って MRI 検査で bright tree appearance を認めた 5 症例 |
| P9-061 | 多田弘子 | 千葉県済生会習志野病院小児科 | 経時的に画像変化を認めた ECHS1 異常症の 1 例 |

一般演題 (ポスター) 10 : 脳外科領域

| | | | |
|---------|-------|------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| P10-062 | 村山 哲 | 東京都立墨東病院小児科 | 片側動眼神経麻痺で発症した中脳梗塞の一例 |
| P10-063 | 児玉香織 | 宮城県立こども病院神経科 | 水頭症を呈した Diffuse leptomeningeal glioneuronal tumor (DLGNT) の一例 |
| P10-064 | 森川翔太郎 | 神奈川県立こども医療センター | 先天性内頸動脈低形成を背景に乳児期に左中大脳動脈領域梗塞を発症した 2 症例の検討 |
| P10-065 | 小出彩香 | 東京都立府中療育センター小児科 | 発症から 10 年以上の経過で悪性転化した毛様細胞性星細胞腫の一部検例 |
| P10-066 | 中尾理沙 | 長崎大学病院小児科 | 呼吸停止で発症し、椎骨脳底動脈解離による脳梗塞の診断に至った重症心身障害児の一例 |
| P10-067 | 渡辺好宏 | 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター | 急性脳症後の脳萎縮に伴い硬膜下血腫を発症した 2 例 |
| P10-068 | 野田あんず | 埼玉県立小児医療センター総合診療科 | 乳幼児の慢性硬膜下血腫における小児神経科医の関わり |

一般演題 (ポスター) 11 : 神経筋疾患

| | | | |
|---------|------|-------------------------|---------------------------------------------------------------|
| P11-069 | 野崎章仁 | 滋賀県立小児保健医療センター遺伝科 | 網膜中心動脈閉塞症を認めた Duchenne muscular dystrophy |
| P11-070 | 土江宏和 | 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科 | 重症心不全に対して心臓再同期療法を施行したデュシェンヌ型筋ジストロフィーの 1 例 |
| P11-071 | 大栗聖由 | 香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科 | 学童期における Duchenne 型筋ジストロフィー患者の横隔膜筋厚 |
| P11-072 | 森岡景子 | 富士宮市立病院 | 急性腎障害を来したデュシェンヌ型筋ジストロフィーの 2 症例 |
| P11-073 | 相原 悠 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | デュシェンヌ型筋ジストロフィーにおける腸管合併症の診断頻度と臨床的特徴 |
| P11-074 | 脇坂晃子 | 国立病院機構医王病院小児科 | 筋ジストロフィー患者に対するリハビリテーションの現状と課題 — 北陸筋ジストロフィーリハビリテーション研修会を開催して — |

一般演題 (ポスター) 11: 神経筋疾患 つづき

| | | | |
|---------|-------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| P11-075 | 住友典子 | 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科 | 成人期 DMD 患者における緩和ケア評価尺度を用いた全人的評価 |
| P11-076 | 住友典子 | 国立精神・神経医療研究センター脳神経小児科 | DMD 患者におけるアドバンス・ケア・プランニングの導入タイミングについての検討 |
| P11-077 | 川口将宏 | あいち小児保健医療総合センター神経内科 | 乳び胸に対しリンパ管造影を実施した先天性筋強直性ジストロフィーの 1 例 |
| P11-078 | 中橋 匠 | 埼玉県立小児医療センター小児科専攻医 | 経時的な脊髄 MR neurography の評価で神経根肥大を認めた Charcot-Marie-Tooth 2 A 型の 1 例 |
| P11-079 | 伊波勇輝 | 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター | 治療に難渋した抗 neurofascin (NF) 155 抗体陽性ノドパチーの一例 |
| P11-080 | 野村隆之介 | 東京都立神経病院神経小児科 | バセドウ病と関節炎を合併した抗 Ku 抗体陽性筋炎の 1 例 |
| P11-081 | 平井 純 | 埼玉医科大学病院小児科 | 先行感染の起因菌・ウイルスが同定された Fisher 症候群の 2 例 |
| P11-082 | 萩野谷和裕 | 宮城県立こども病院神経科 | 多発性内分泌腫瘍症 2 型 (MEN2) の新規変異を有し先天性内反足、運動感覚ニューロパチー V 型の表現型をとった 1 例 |
| P11-083 | 石川暢恒 | 県立広島病院小児科 | MYH7 遺伝子変異による Laing 型遠位型ミオパチーの小児例 |
| P11-084 | 辻 恵 | 神奈川県立こども医療センター神経内科 | 幼児期に舌と上肢振戦が先行した MYBPC1 変異による軽症ミオパチーの思春期女児例 |
| P11-085 | 相場佳織 | あいち小児保健医療総合センター神経内科 | CLCN1 と SCN4A の変異が共存した非ジストロフィー性ミオトニー症候群の 1 例 |
| P11-086 | 近野かおり | 東京都立多摩北部医療センター | ラモトリギン有効性を認めた非ジストロフィー性ミオトニー症候群の男児 |
| P11-087 | 松山 翔 | ヤンセンファーマ株式会社 | Nipocalimab の成人全身型重症筋無力症患者を対象とした第 3 相試験での用法用量の選択について |
| P11-088 | 和田恵子 | 東京小児療育病院 | 先天性ミオパチー患者の症状とリハビリ支援 |

一般演題 (ポスター) 12: 代謝・神経変性疾患

| | | | |
|---------|------|----------------------|--------------------------------------------------------------------|
| P12-089 | 柏井洋文 | 東京都立神経病院神経小児科 | 小児期発症の致死性家族性不眠症の 1 例 |
| P12-090 | 橋本梨沙 | 東京都立府中療育センター小児科 | 思春期大脳型副腎白質ジストロフィーを発症した Down 症候群の 1 例 |
| P12-091 | 三浦雅樹 | 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科 | 異なる中枢神経外合併症を示した DRPLA 姉妹例 |
| P12-092 | 池川 環 | 神奈川県立こども医療センター神経内科 | 当院における乳児神経軸索ジストロフィーの検討 |
| P12-093 | 松浦 周 | 京都府立医科大学附属病院小児科 | 左右交代性の脳腫脹と可逆性の動脈拡張所見を認めたモリブデン補酵素欠損症の 1 例 |
| P12-094 | 田島大輔 | 医療法人やなぎしまこども医院 | 乳児期早期に異常眼球運動を伴う一過性髄液糖低下の 5 例 |
| P12-095 | 矢賀勇志 | 国立成育医療研究センター教育研修センター | 成人内科と脳神経小児科の連携により 41 歳で診断に至った眼球運動失行を伴う失調症 1 型 (AOA1) |
| P12-096 | 鳥尾倫子 | 福岡市立こども病院総合診療科 | 広範な蒙古斑が特徴的であったファーバー病の一例 |
| P12-097 | 沖 啓祐 | 大阪母子医療センター小児神経科 | 発症から 3 年以上を経て診断され酵素補充療法を開始した遅発型ボンペ病の 1 例 |
| P12-098 | 衛藤 薫 | 東京女子医科大学附属足立医療センター | 幼児期後期発症 Niemann-Pick 病 C 型患者の 10 年間の miglustat による治療経過 |
| P12-099 | 早川美佳 | 東京都立北療育医療センター小児科 | 乳児期から Rett 症候群様の症状を呈し早期に診断できた β プロペラ蛋白関連神経変性症 (BPAN) の 1 女児例 |
| P12-100 | 梶原健太 | 九州大学病院小児科 | リンパ球空胞化と神経セロイドリポフスチン症様の退行を示した 17 歳男子 |

一般演題（ポスター）12：代謝・神経変性疾患 つづき

| | | | |
|---------|-------|--------------------|-----------------------------------------------------------------|
| P12-101 | 小寺澤敬子 | 姫路市総合福祉通園センター | バルプロ酸ナトリウムとリスジプラム併用が功を奏している SMA 2 型の成人女性の一例 |
| P12-102 | 中村拓自 | 佐賀大学医学部小児科 | リスジプラム内服で自律神経活動度が改善した脊髄性筋萎縮症 1 型の 2 症例 |
| P12-103 | 松藤まゆみ | 鹿児島市立病院小児科 | リスジプラム内服を開始した脊髄性筋萎縮症 3 型の 2 歳男児例 |
| P12-104 | 仲村貞郎 | 琉球大学小児科 | RS ウイルス罹患により重篤な経過を呈したオナセムノゲンアベパルボベク投与後の脊髄性筋萎縮症 1 型の一例 |
| P12-105 | 小林瑛美子 | 岐阜県総合医療センター小児科 | 遺伝子治療までの経過が異なる脊髄性筋萎縮症 1 型 3 例の検討 |
| P12-106 | 衣笠智美 | 姫路市総合福祉通園センター | 脊髄性筋萎縮症当事者のライフストーリーから学んだこと |
| P12-107 | 加藤 環 | 東京女子医科大学ゲノム診療科 | 新生児スクリーニングの普及に対応した脊髄性筋萎縮症の新患者登録システムの始動 |
| P12-108 | 本間泰平 | バイオジェン・ジャパン株式会社 | オナセムノゲンアベパルボベク治療歴のある脊髄性筋萎縮症小児に対するヌシネルセンの効果：第 4 相 RESPOND 試験中間報告 |
| P12-109 | 橘 洋介 | バイオジェンジャパン | 脊髄性筋萎縮症治療薬ヌシネルセンの国内使用成績調査（全例調査）：中間集計結果（2023 年 5 月カットオフ） |
| P12-110 | 大岩純平 | 東京医科大学病院小児科・思春期科 | ADHD として加療されていた PGK（phosphoglycerate kinase）欠損症の兄弟例 |
| P12-111 | 里村千咲樹 | 富山大学小児科 | 潰瘍性大腸炎を合併したミトコンドリア病の一例 |
| P12-112 | 藤本淳志 | 神奈川県立こども医療センター神経内科 | 脳 MRI で持続する多発皮質拡散制限を認めた MELAS の 2 例 |
| P12-113 | 満屋春奈 | 市立ひらかた病院小児科 | 非けいれん性てんかん重積状態を繰り返した MELAS の一例 |
| P12-114 | 森 規彦 | 宮崎大学医学部小児科 | 急速に症状が進行した NDUFS7 遺伝子異常を有する Leigh 脳症 |

一般演題（ポスター）13：不随意運動・基底核疾患

| | | | |
|---------|--------|-----------------------------------|------------------------------------------|
| P13-115 | 白石一浩 | 宇多野病院小児科 | 診断に時間のかかった不随意運動を呈する非典型的レット症候群の女子症例 |
| P13-116 | 松石豊次郎 | 雪の聖母会聖マリア病院小児総合研究センターレット症候群研究センター | Rett 症候群の新規治療法開発に向けた自律神経活動解析による治療効果指標の確立 |
| P13-117 | 松石豊次郎 | 聖マリア病院小児総合研究センターレット症候群研究センター | タンドスピロンはレット症候群の不随意運動、ジストニアに有効である？ |
| P13-118 | 池田ちづる | 国立病院機構熊本再春医療センター小児科 | 発作性運動誘発性ジスキネジアの臨床的特徴 —7 例の経験から— |
| P13-119 | 大澤由記子 | 東京都立多摩北部医療センター小児科 | ADCY5 遺伝子関連ジスキネジアの 1 家系 |
| P13-120 | 青山弘美 | 千葉県こども病院神経内科 | レベチラセタムによる不随意運動、経口摂取不良を呈した一例 |
| P13-121 | 宇佐美亜由子 | 天理よろづ相談所病院 | けいれん重積型二相性脳症（AESD）の回復期に舞踏病様運動を遺した 2 歳男児例 |

一般演題 (ポスター) 14: 睡眠障害

| | | | |
|---------|-------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------|
| P14-122 | 白井謙太郎 | 土浦協同病院小児科 | 新型コロナウイルス感染症罹患後に長時間睡眠を呈した若年患者 3 例 |
| P14-123 | 岩渕恵美 | 茨城県立こども病院小児科 | 起立性調節障害として紹介され、睡眠相後退症候群として加療したところ、朝の起床困難が改善した 2 症例 |
| P14-124 | 吉崎亜里香 | 大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どもこのころの分子統御機構研究センター | 双方向性睡眠啓発アプリ「ねんねナビ」を用いた幼児の睡眠習慣への介入による家庭への影響とその地域差 |
| P14-125 | 渡辺圭介 | 秋田大学医学部附属病院 | Angelman 症候群の睡眠障害に対するミルタザピンの投与経験 |
| P14-126 | 清水 樹 | 聖路加国際病院小児科 | 乳幼児期の hypnic myoclonia に伴う舌咬傷に対し、睡眠に対する薬物療法が奏功した 1 例 |

一般演題 (ポスター) 15: 内分泌・栄養

| | | | |
|---------|-------|--------------------|-----------------------------------------------------------|
| P15-127 | 尾崎文美 | 横浜医療福祉センター港南神経小児科 | 歯肉膿瘍の増大を呈し Burosumab 投与を行った FGF23 関連低リン血症性くる病の 1 例 |
| P15-128 | 井之上寿美 | 島田療育センターはちおうじ神経小児科 | 偏食を有する神経発達症児における栄養評価と血清亜鉛値 |
| P15-129 | 松村 渉 | 西部島根医療福祉センター小児科 | 糖尿病を合併した重症心身障害者の 5 例 |
| P15-130 | 石崎英里奈 | あおぞら診療所うへの | 過栄養によるインスリン抵抗性増大を一因として糖尿病を発症したと考えられた下垂体機能低下症合併重症心身障害の 2 例 |

一般演題 (ポスター) 16: 災害・COVID-19

| | | | |
|---------|-------|-------------------------|---------------------------------------|
| P16-131 | 稲葉雄二 | 長野県立こども病院神経小児科 | 小児専門病院における小児神経領域のオンライン診療の試み |
| P16-132 | 橋本和彦 | 佐世保市総合医療センター | COVID-19 オミクロン株流行下における年長児の熱性けいれん |
| P16-133 | 武下草生子 | 横浜医療福祉センター港南神経小児科 | 長期入所中の重症心身障害児・者における COVID-19 の臨床像の検討 |
| P16-134 | 青柳閣郎 | 山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科 | 重症心身障害児者入所施設における COVID-19 クラスタへの対応と課題 |
| P16-135 | 大野敦子 | 豊田市こども発達センターのぞみ診療所小児神経科 | 肢体不自由児療育施設における感染対策の取り組み |

International Session (Platform Presentation) 1 : English Session 1

May 31 9:40~10:40 Room 7

Chair Mariko Ikeda (Department of Clinical Genetics, Fujita Health University Hospital)

Shinji Saitoh (Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

| | | | |
|--------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IO1-01 | Daisuke Sawada | Department of Pediatrics, Chiba University Graduate School of Medicine, Chiba, Japan | A case of hereditary spastic paraplegia with psychiatric comorbidities due to deletion in 2p22.3p23.1 |
| IO1-02 | Ritsuko K. Pooh | Fetal Brain Center, CRIFM Prenatal Medical Clinic, Osaka, Japan | Early fetal phenotype of Joubert syndrome in 12–16 weeks of gestation |
| IO1-03 | Kyoko Hoshino | Department of Pediatric Neurology, National Hospital Organization Minami Wakayama Medical Center, Wakayama, Japan | PHF21A Related Disorder with intellectual disability : a case report of an 11-year-old female |
| IO1-04 | Yuto Arai | Division of Child Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan | An adolescent case of ASXL3-related disorder with delayed onset of feeding difficulty |
| IO1-05 | Emi Sato | Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan | Loss of SZT2 leads to hyperactivation of mTORC1 in human brain organoids |
| IO1-06 | Masanori Fujimoto | Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences | Gain-of-function MYCN controls cell death and proliferation, leading to macrocephaly |

International Session (Platform Presentation) 2 : English Session 2

May 31 10:50~11:40 Room 7

Chair Hitoshi Osaka (Department of Pediatrics, Jichi Medical University)

Tomonari Awaya (Center for Anatomy, Pathology, and Forensic Medicine Research, Kyoto University Graduate School of Medicine)

| | | | |
|--------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IO2-01 | Kiyoshi Egawa | Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Hokkaido, Japan | Upregulation of postsynaptic GABA receptor function in a mouse model of Dravet syndrome |
| IO2-02 | Masahiko Kimura | Kimura Children and Family Clinic, Izumo, Japan | Many children with seizures transferred by ambulance had status epilepticus : a need for prehospital treatment |
| IO2-03 | Yuto Arai | Division of Child Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan | Risk Factors of Prehospital Emergency Care for Acute Encephalopathy in Children with Febrile Status Epilepticus |
| IO2-04 | Yoshie Kurokawa | Department of Pediatrics, Jichi Medical University Hospital, Shimotsuke, Japan | Clinical features of 14 patients hospitalized with COVID-19 encephalopathy |
| IO2-05 | Yayoi Murano | Division of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Toshima Hospital, Tokyo, Japan | More neurological symptoms in COVID-19 omicron variants |

International Session (Platform Presentation) 3 : English Session 3

May 31 13:10~14:10 Room 7

Chair Hideaki Shiraiishi (Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital Epilepsy Center)

Yuko Shimizu-Motohashi (National Center of Neurology and Psychiatry)

| | | | |
|--------|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IO3-01 | Hiroataka Motoi | Department of pediatrics, Yokohama City University Medical Center | A case of infantile epileptic spasms syndrome with a DYNC1H1 variant responsive to vigabatrin |
| IO3-02 | Andika Priamas Nugrahanto | Department of Pediatrics, Universitas Gadjah Mada, Yogyakarta, Indonesia | Diagnostic value of human high mobility group box 1 serum as biomarker of drug-resistant epilepsy in children |
| IO3-03 | Kristy Iskandar | Division of Neurology, Department of Child Health, Universitas Gadjah Mada, Yogyakarta, Indonesia | Clinical features and genetic analyses of developmental and epileptic encephalopathies in Indonesia |
| IO3-04 | Teruyuki Tanaka | Department of Pediatrics, Tokyo Children's Rehabilitation Hospital, Tokyo, Japan | Multimodal analysis of neural activity and dynamics in the CDKL5 loss-of-function mouse brain |
| IO3-05 | Shin Nabatame | Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan | The usefulness of a 3D MRI analysis system in epilepsy surgery of a patient with minimal focal cortical dysplasia |
| IO3-06 | Midori Nakajima | Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital | Post-operative seizure freedom in MRI negative cingulate epilepsy |

International Session (Platform Presentation) 4 : English Session 4

May 31 14:20~15:20 Room 7

Chair Yoshihiro Maegaki (Division of Child Neurology, Institute of Neurological Sciences, Faculty of Medicine, Tottori University)

Hiroyuki Yamamoto (Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine)

| | | | |
|--------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IO4-01 | Yuji Ito | Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Aichi, Japan | Body composition and motor function in school-aged children born term with large for gestational age |
| IO4-02 | Ritsuko K. Pooh | Fetal Brain Center, CRIFM Prenatal Medical Clinic, Osaka, Japan | Cat-Ear-Lines and medullary veins during 16-30 weeks of gestation from neuronal migration perspective |
| IO4-03 | Ritsuko K. Pooh | Fetal Brain Center, CRIFM Prenatal Medical Clinic, Osaka, Japan | Specific cerebral features of Down's syndrome in mid-gestation by transvaginal 3D neurosonography |
| IO4-04 | Yuh-Juh Jong | Departments of Pediatrics and Laboratory Medicine, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan | RAINBOWFISH : Primary efficacy and safety in risdiplam-treated infants with presymptomatic spinal muscular atrophy (SMA) |
| IO4-05 | Kengo Kora | Department of Pediatrics, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan | Disrupted lysosomal dynamics in human skeletal muscle cell model of X-linked myotubular myopathy |
| IO4-06 | Takamasa Mitsumatsu | Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan | Motor function characteristics in school-aged survivors of congenital diaphragmatic hernia |

フリーディスカッション 5月31日(金) 17:30~19:00

International Session (Poster Presentation) : English Session

| | | | |
|-------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IP-01 | Junko Hotta | Department of Medical Genetics, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan | 16p13.11 microdeletion in a girl with mild intellectual disability and neurodevelopmental disorders |
| IP-02 | Abir Nagata | Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan | Association of prenatal corticosteroid and beta 2 adrenergic exposure with offspring neurodevelopmental outcomes |
| IP-03 | Koyuru Kurane | Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan | Can changes in brain function serve as biomarkers to determine criteria for discontinuing ADHD medication? |
| IP-04 | Yuto Arai | Division of Child Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan | Successful perioperative preparation of a child with autism in collaboration with his school for special needs education |
| IP-05 | <i>Ara Monica Ballesteros-Gratuito</i> | Department of Pediatrics, National Children's Hospital, Quezon City, Philippines | Risk Factors of Breakthrough Seizures Among Patients with Childhood Epilepsy in a Tertiary Hospital |
| IP-06 | Eiji Nakagawa | Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry | Progress of the project to develop a regional epilepsy care coordination system |
| IP-07 | Yuto Arai | Division of Child Neurology, Department of Brain and Neurosciences, Faculty of Medicine, Tottori University | Positive psychological impact of individuals with severe motor and intellectual disabilities toward healthcare workers |
| IP-08 | Yuki Ueda | Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan | Non-epileptic sleep related paroxysmal movement in an infant with hypophosphatasia |